

平成26年度 神奈川県児童・生徒の問題行動等調査〔確定値〕 調査結果の概要2（公立学校分）

目次

1	暴力行為の状況（公立小・中・高等学校）	・・・1
2	いじめの状況（公立小・中・高・特別支援学校・県・市町村教育委員会）	・・・8
3	長期欠席・不登校児童・生徒の状況（公立小・中学校）	・・・15
4	長期欠席・不登校生徒の状況（公立高等学校）	・・・24
5	中途退学者等の状況（公立高等学校）	・・・33
6	自殺の状況（公立小・中・高等学校）	・・・37
7	出席停止の状況（公立小・中学校）	・・・38
8	教育相談の状況（県・市町村教育委員会）	・・・39

* 中学校には中等教育学校前期課程を、高等学校には中等教育学校後期課程を含む

平成28年3月

神奈川県教育委員会

1 暴力行為の状況【公立小・中・高等学校】

(1 - 1)暴力行為の発生状況

ア 合計(対教師暴力・生徒間暴力・対人暴力・器物損壊)

区分	学校総数(校)	学校内				学校外				計	
		発生学校数(校)	発生学校数の割合(%)	発生件数(件)	加害児童・生徒数(人)	発生学校数(校)	発生学校数の割合(%)	発生件数(件)	加害児童・生徒数(人)	発生件数(件)	加害児童・生徒数(人)
小学校	856	326	38.1	1,951	1,422	108	12.6	228	236	2,179	1,658
中学校	414	331	80.0	3,686	2,839	122	29.5	236	252	3,922	3,091
高等学校	160	98	61.3	332	407	24	15.0	28	47	360	454
計	1,430	755	52.8	5,969	4,668	254	17.8	492	535	6,461	5,203

イ 対教師暴力

区分	学校総数(校)	学校内						学校外						計	
		発生学校数(校)	発生学校数の割合(%)	発生件数(件)		加害児童・生徒数(人)	被害教師数(人)	発生学校数(校)	発生学校数の割合(%)	発生件数(件)		加害児童・生徒数(人)	被害教師数(人)	発生件数(件)	
				病院						病院				病院	
小学校	856	111	13.0	266	24	162	215	7	0.8	9	1	7	7	275	25
中学校	414	161	38.9	498	131	421	446	7	1.7	7	1	10	7	505	132
高等学校	160	21	13.1	33	3	34	32	0	0.0	0	0	0	0	33	3
計	1,430	293	20.5	797	158	617	693	14	1.0	16	2	17	14	813	160

ウ 生徒間暴力

区分	学校総数(校)	学校内						学校外						計	
		発生学校数(校)	発生学校数の割合(%)	発生件数(件)		加害児童・生徒数(人)	被害児童・生徒数(人)	発生学校数(校)	発生学校数の割合(%)	発生件数(件)		加害児童・生徒数(人)	被害児童・生徒数(人)	発生件数(件)	
				病院						病院				病院	
小学校	856	259	30.3	1,312	153	1,154	1,236	98	11.4	207	28	243	223	1,519	181
中学校	414	302	72.9	2,173	459	2,199	1,995	104	25.1	198	65	225	201	2,371	524
高等学校	160	81	50.6	196	22	258	192	18	11.3	19	6	36	20	215	28
計	1,430	642	44.9	3,681	634	3,611	3,423	220	15.4	424	99	504	444	4,105	733

エ 対人暴力

区分	学校総数(校)	学校内						学校外						計	
		発生学校数(校)	発生学校数の割合(%)	発生件数(件)		加害児童・生徒数(人)	被害者数(人)	発生学校数(校)	発生学校数の割合(%)	発生件数(件)		加害児童・生徒数(人)	被害者数(人)	発生件数(件)	
				病院						病院				病院	
小学校	856	7	0.8	9	0	9	8	11	1.3	12	1	17	11	21	1
中学校	414	12	2.9	25	10	41	20	25	6.0	31	4	43	34	56	14
高等学校	160	2	1.3	2	1	2	2	7	4.4	9	5	11	8	11	6
計	1,430	21	1.5	36	11	52	30	43	3.0	52	10	71	53	88	21

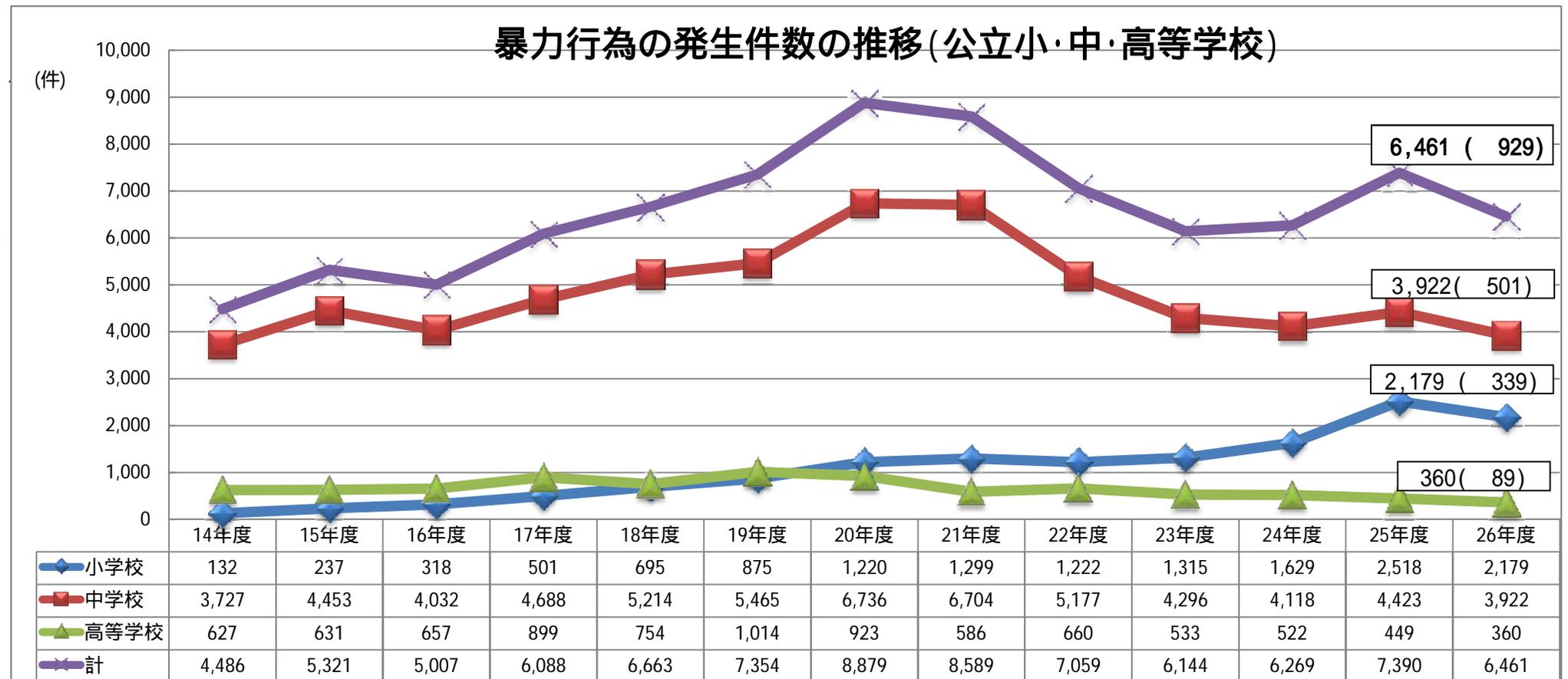
オ 器物損壊

区分	学校総数(校)	発生学校数(校)	発生学校数の割合(%)	発生件数(件)	加害児童・生徒数(人)
小学校	856	156	18.2	364	439
中学校	414	199	48.1	990	910
高等学校	160	53	33.1	101	128
計	1,430	408	28.5	1,455	1,477

ア～オともに

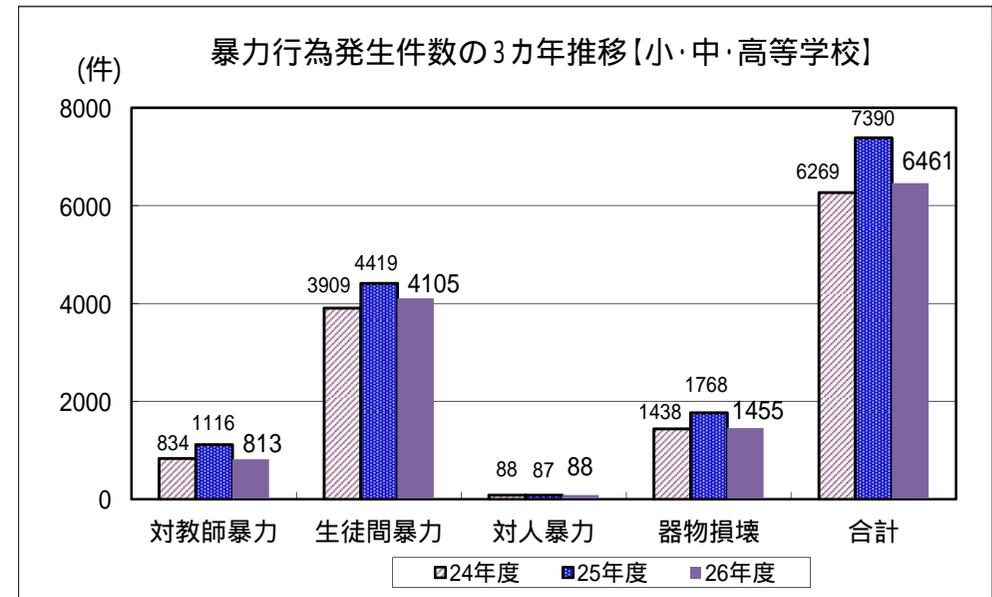
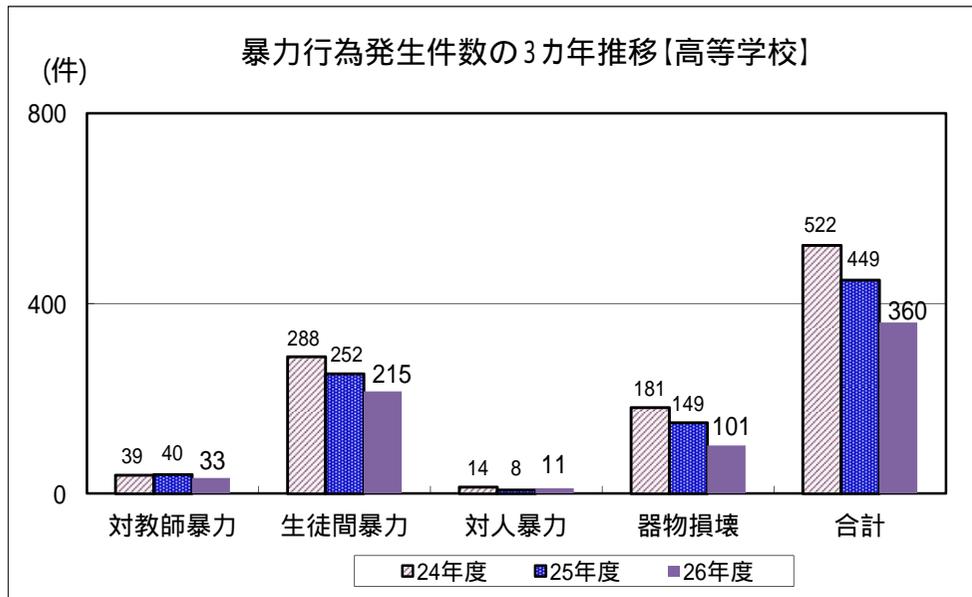
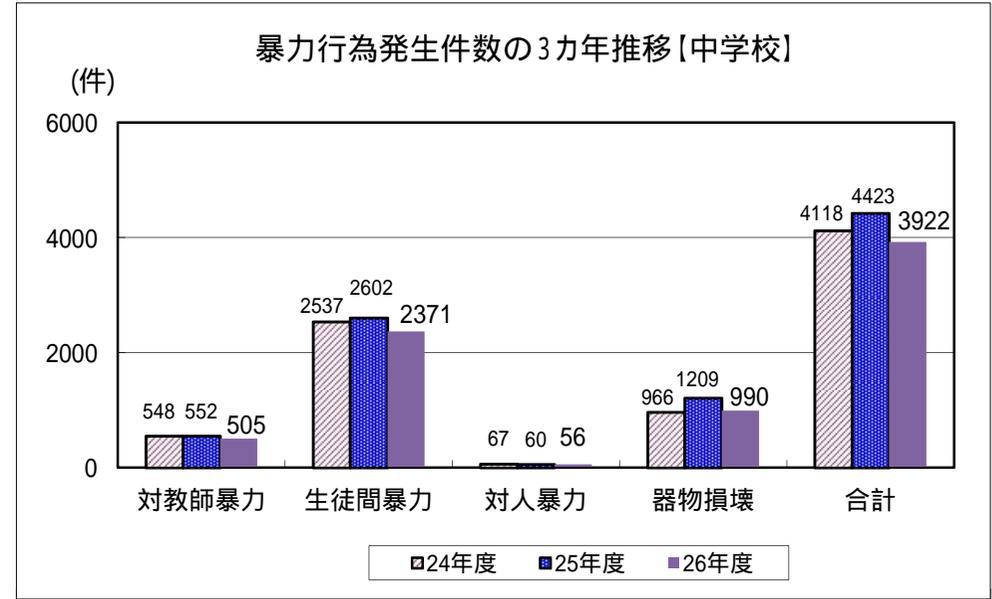
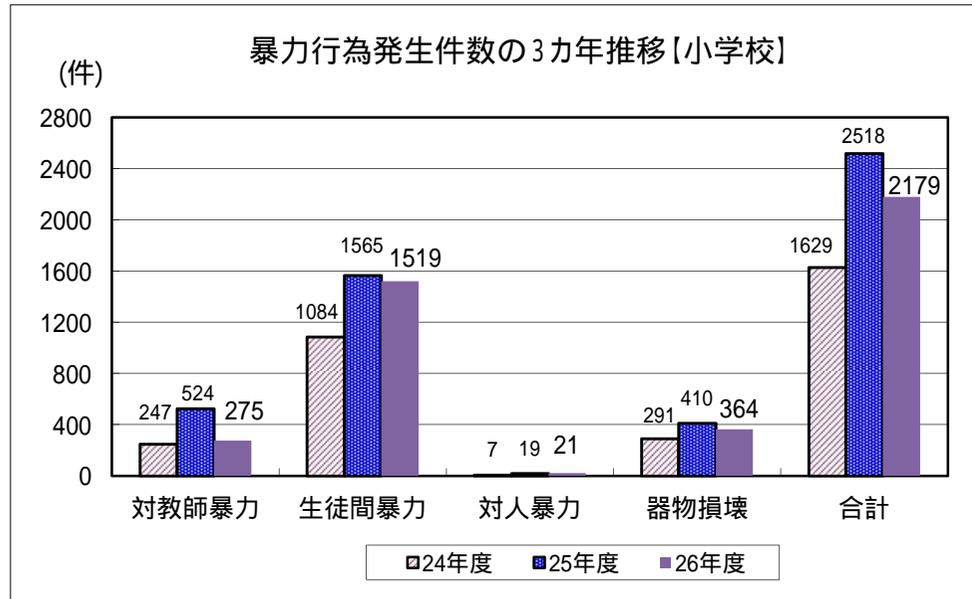
- (注1)学校総数は、平成26年度学校基本調査の数値。中学校には中等教育学校前期課程を含む。高等学校の学校数は、全日制、定時制、通信制、併置校及び中等教育学校後期課程の合計数。
- (注2)発生学校数は、のべ数。発生件数のうち 病院の欄は、調査時点で学校が把握している情報に基づき、当該暴力行為により被害者が病院で治療した件数を、発生件数の内数として計上。
- (注3)「対教師暴力」、「生徒間暴力」、「対人暴力」及び「器物損壊」欄の加害生徒数は、学校内・学校外の区分ごとに実数。
- (注4)「合計」欄の発生学校数は、学校内・学校外の区分ごとに実数。
- (注5)「合計」欄の加害児童・生徒数は、学校内・学校外の区分ごとに、1人の加害児童・生徒が複数の形態の加害児童・生徒として計上されている場合、実数(1人)として扱っているため、(1-2)学年別・男女別加害児童・生徒数の数値と一致しない。

(参考1)
暴力行為の発生件数の推移



(参考2)

暴力行為の発生件数(学校種・形態別)の3カ年推移



(1-2) 学年別・男女別加害児童・生徒数

区分	小学校							中学校				高等学校				合計
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生	計	1年生	2年生	3・4年生	計	
男子	117	210	256	317	431	566	1,897	1,220	1,341	1,084	3,645	198	129	72	399	5,941
女子	10	7	14	28	28	47	134	70	79	55	204	37	24	9	70	408
計	127	217	270	345	459	613	2,031	1,290	1,420	1,139	3,849	235	153	81	469	6,349

(注)人数は、(1-1)暴力行為の発生状況の「対教師暴力」、「生徒間暴力」、「対人暴力」及び「器物損壊」に計上された加害児童・生徒数の数値を合計したものと一致し、延べ人数となり、実人数ではない。

(1-3) 加害児童・生徒に対する学校の措置別人数

区分	退学・転学						停学			出席停止			自宅学習 自宅謹慎等			訓告			計		
	懲戒退学			その他			学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計
	学校		小計	学校		小計	内	外		内	外		内	外		内	外		内	外	
	内	外		内	外																
小学校	-	-	-	0	0	0	-	-	-	0	0	0	-	-	-	2	11	13	2	11	13
中学校	0	0	0	2	1	3	-	-	-	0	0	0	-	-	-	40	1	41	42	2	44
高等学校	0	0	0	23	10	33	0	0	0	-	-	-	293	28	321	0	0	0	316	38	354

(注1)「退学・転学」中のその他とは、勸奨・申し出による退学及び転学である。

(注2)「訓告」とは、校長が学校教育法施行規則26条に定める懲戒処分としての「訓告」であることを明示して行ったものであり、事実上の懲戒として行われる単なる「叱責」等は含まれない。

(1-4) 加害児童・生徒に対する関係機関の措置別人数

区分	警察の補導			家庭裁判所の 保護的措置			少年刑務所			少年院			保護観察			児童自立支援 施設			児童相談所			計		
	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計
	内	外		内	外		内	外		内	外		内	外		内	外		内	外		内	外	
小学校	8	0	8	0	0	0	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	1	15	22	1	23
中学校	86	33	119	48	28	76	-	-	-	5	5	10	27	17	44	3	2	5	32	6	38	201	91	292
高等学校	0	1	1	1	3	4	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	1	7	8

(注1)最終的な措置が確定している場合は該当する措置、最終的な措置が確定していない場合は年度末現在の状況を計上。

(注2)「家庭裁判所の保護的措置」には、審判不開始、不処分のほか、調査中、審判中のものが含まれる。

(1 - 5)加害児童・生徒に対する学校の対応

ア 指導した者

区分	学級担任や他の教職員が指導			養護教諭が指導			校長、教頭が指導			スクールカウンセラー等の相談員がカウンセリング			その他の者が指導		
	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計
	内	外		内	外		内	外		内	外		内	外	
小学校	1,713	260	1,973	313	7	320	625	45	670	69	8	77	82	8	90
中学校	3,449	263	3,712	129	3	132	602	33	635	54	10	64	139	20	159
高等学校	409	44	453	39	3	42	353	44	397	25	2	27	10	1	11
計	5,571	567	6,138	481	13	494	1,580	122	1,702	148	20	168	231	29	260

イ 連携した機関等

区分	警察等の刑事司法機関等と連携した対応			児童相談所等の福祉機関等と連携した対応			病院等の医療機関等と連携した対応			その他の専門的な関係機関等と連携した対応			地域の人材や団体等と連携した対応		
	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計
	内	外		内	外		内	外		内	外		内	外	
小学校	66	21	87	74	8	82	55	1	56	94	8	102	15	7	22
中学校	336	101	437	84	20	104	67	14	81	56	11	67	10	10	20
高等学校	7	10	17	1	1	2	7	1	8	6	1	7	0	0	0
計	409	132	541	159	29	188	129	16	145	156	20	176	25	17	42

ウ 指導等の内容

区分	被害者等(被害者の関係者を含む)に対する謝罪指導			友人関係を改善するための指導			ルールの徹底や規範意識を醸成するための指導			個別に学習支援			当該児童・生徒が意欲を持って活動できる場を用意		
	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計
	内	外		内	外		内	外		内	外		内	外	
小学校	1,408	231	1,639	980	172	1,152	1,437	217	1,654	218	25	243	431	64	495
中学校	2,843	192	3,035	1,752	105	1,857	2,659	197	2,856	141	12	153	396	47	443
高等学校	251	38	289	200	31	231	358	42	400	180	21	201	24	9	33
計	4,502	461	4,963	2,932	308	3,240	4,454	456	4,910	539	58	597	851	120	971

区分	教職員との関係改善			保護者の協力を求めて、家族関係等の改善・調整			その他		
	学校		小計	学校		小計	学校		小計
	内	外		内	外		内	外	
小学校	215	4	219	760	110	870	5	2	7
中学校	453	24	477	1,203	130	1,333	30	2	32
高等学校	60	2	62	117	15	132	2	2	4
計	728	30	758	2,080	255	2,335	37	6	43

ア、イ、ウともに
 (注1)複数選択を可とする。
 (注2)「連携した機関等」には、当該機関の関係団体や関係者を含む。
 なお、「警察等の刑事司法機関等と連携した対応」には「サポートチーム」の取組などを含む。

(1 - 6)暴力行為を5回以上繰り返し起こした児童・生徒の状況

ア 暴力行為を5回以上繰り返し起こした児童・生徒数等

		小学校	中学校
該当児童・生徒数		83	79
該当児童・生徒が起こした暴力行為発生件数		712	614
内訳	対教師暴力	189	154
	生徒間暴力	459	289
	対人暴力	3	6
	器物損壊	61	165
加害児童・生徒数のうち該当児童・生徒の割合		5.0	2.6
(再掲)各区分における加害児童・生徒数		1,658	3,091
暴力発生件数のうち該当児童・生徒が起こした割合		32.7	15.7
(再掲)暴力行為発生件数		2,179	3,922

(参考)

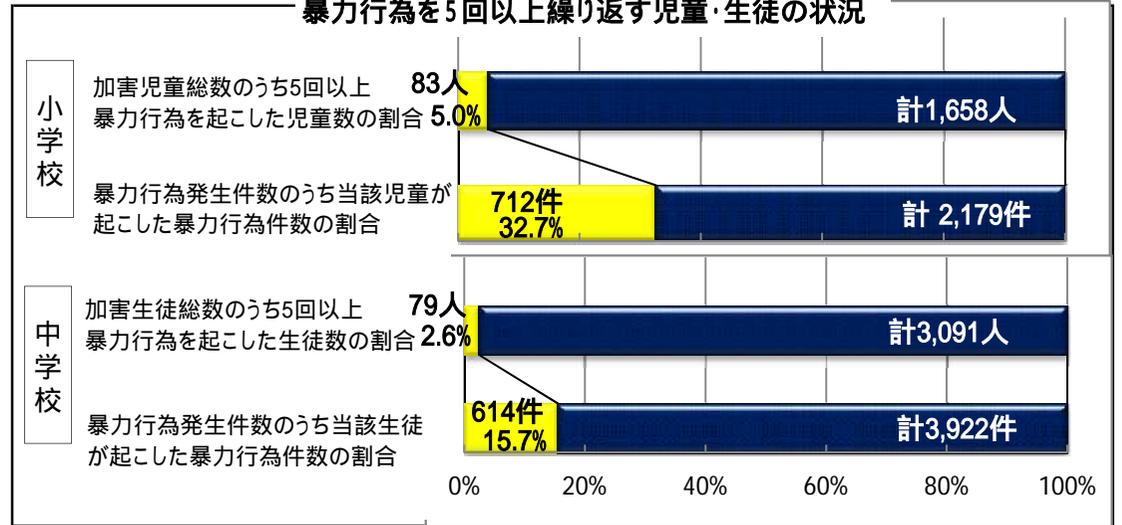
【小学校学年別人数】

	1年生		2年生		3年生		4年生		5年生		6年生		計			
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	計	
該当児童・生徒数	6	0	9	0	18	0	13	1	22	0	14	0	82	1	83	
該当児童・生徒が起こした暴力行為発生件数	55	0	63	0	142	0	104	10	197	0	141	0	702	10	712	
内訳	対教師暴力	17	0	17	0	29	0	42	6	43	0	35	0	183	6	189
	生徒間暴力	38	0	44	0	102	0	59	1	133	0	82	0	458	1	459
	対人暴力	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	2	1	3
	器物損壊	0	0	2	0	11	0	3	2	20	0	23	0	59	2	61

【中学校学年別人数】

	1年生		2年生		3年生		計			
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	計	
該当児童・生徒数	22	1	23	4	29	0	74	5	79	
該当児童・生徒が起こした暴力行為発生件数	162	10	218	21	203	0	583	31	614	
内訳	対教師暴力	25	3	65	10	51	0	141	13	154
	生徒間暴力	117	5	84	0	83	0	284	5	289
	対人暴力	0	0	4	0	2	0	6	0	6
	器物損壊	20	2	65	11	67	0	152	13	165

暴力行為を5回以上繰り返す児童・生徒の状況



イ 繰り返し暴力を起こす理由として考えられる要因

		小学校		中学校		計	
		回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)
本人の問題	本人に粗暴的な性格が見受けられる	63	75.9	67	84.8	130	80.2
	本人の規範意識が低いと思われる	68	81.9	68	86.1	136	84.0
家庭の問題	養育放棄(ネグレクト)が背景にあるように思われる	25	30.1	18	22.8	43	26.5
	ネグレクト以外の児童虐待が背景にあるように思われる	16	19.3	12	15.2	28	17.3
	家族関係のなかでのストレスや葛藤がある	58	69.9	44	55.7	102	63.0
学校の問題	友達との人間関係をうまく構築できない	63	75.9	41	51.9	104	64.2
	教員との信頼関係が崩れたからだと思われる	19	22.9	24	30.4	43	26.5
	校内での非行グループ化が背景にある	3	3.6	37	46.8	40	24.7
	卒業生や校外の非行グループとの繋がりが背景にある	4	4.8	34	43.0	38	23.5
	授業を理解できないことが原因と思われる	30	36.1	50	63.3	80	49.4
その他	その他	15	18.1	14	17.7	29	17.9

(注1)複数回答のため、回答数の合計は該当児童・生徒数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。

(注2)構成比は、各区分における加害児童・生徒数に対する割合。

5回以上該当者数	小学校	83	中学校	79	合計	162
----------	-----	----	-----	----	----	-----

2 いじめの状況【公立小・中・高・特別支援学校・県・市町村教育委員会】

[平成26年度神奈川県児童・生徒の問題行動等調査結果]

(2-1) いじめの認知学校数・認知件数

区分	公立学校総数: A(校)	認知学校数: B(校)	比率: B/A×100(%)	認知件数: C(件)	1校あたりの認知 件数:C/A(件)	認知していない 学校数:D(校)	比率: D/A×100(%)
小学校	856	641	74.9	3,834	4.5	215	25.1
中学校	414	359	86.7	2,304	5.6	55	13.3
高等学校	186	82	44.1	266	1.4	104	55.9
特別支援学校	46	16	34.8	75	1.6	30	65.2
計	1,502	1,098	73.1	6,479	4.3	404	26.9

(注1)いじめの定義

本調査において、個々の行為が「いじめ」に当たるか否かの判断は、表面的・形式的に行うことなく、いじめられた児童・生徒の立場に立つて行うものとする。

「いじめ」とは、「児童・生徒に対して、当該児童・生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童・生徒と一定の人的関係のある他の児童・生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものも含む。）であって、当該行為の対象となった児童・生徒が、心身の苦痛を感じているもの。」とする。なお、起こった場所は学校の内外を問わない。

「いじめ」の中には、犯罪行為として取り扱われるべきと認められ、早期に警察に相談することが重要なものや、児童・生徒の生命、身体又は財産に重大な被害が生じるような、直ちに警察に通報することが必要なものが含まれる。これらについては、教育的な配慮や被害者の意向への配慮のうえで、早期に警察に相談・通報の上、警察と連携した対応をとることが必要である。

(注2)学校総数は、高等学校の全定併置校や通信制併設校等を全日制、定時制、通信制をそれぞれ1校として計上しているため、学校基本調査の数値と一致しない。

(2-2) いじめの認知件数の学年別、男女別内訳

区分	小学校							中学校				高等学校			
	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	計	1学年	2学年	3学年	計	1学年	2学年	3・4学年	計
男子	171	244	364	445	519	534	2,277	641	480	208	1,329	77	37	26	140
女子	106	148	202	292	391	418	1,557	498	325	152	975	57	43	26	126
計	277	392	566	737	910	952	3,834	1,139	805	360	2,304	134	80	52	266

区分	特別支援学校																合計
	小学部							中学部				高等部				計	
	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	小計	1学年	2学年	3学年	小計	1学年	2学年	3学年	小計		
男子	0	0	0	1	0	1	2	0	0	0	0	17	7	9	33	35	3,781
女子	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2	2	22	10	5	37	40	2,698
計	0	1	0	1	0	1	3	0	0	2	2	39	17	14	70	75	6,479

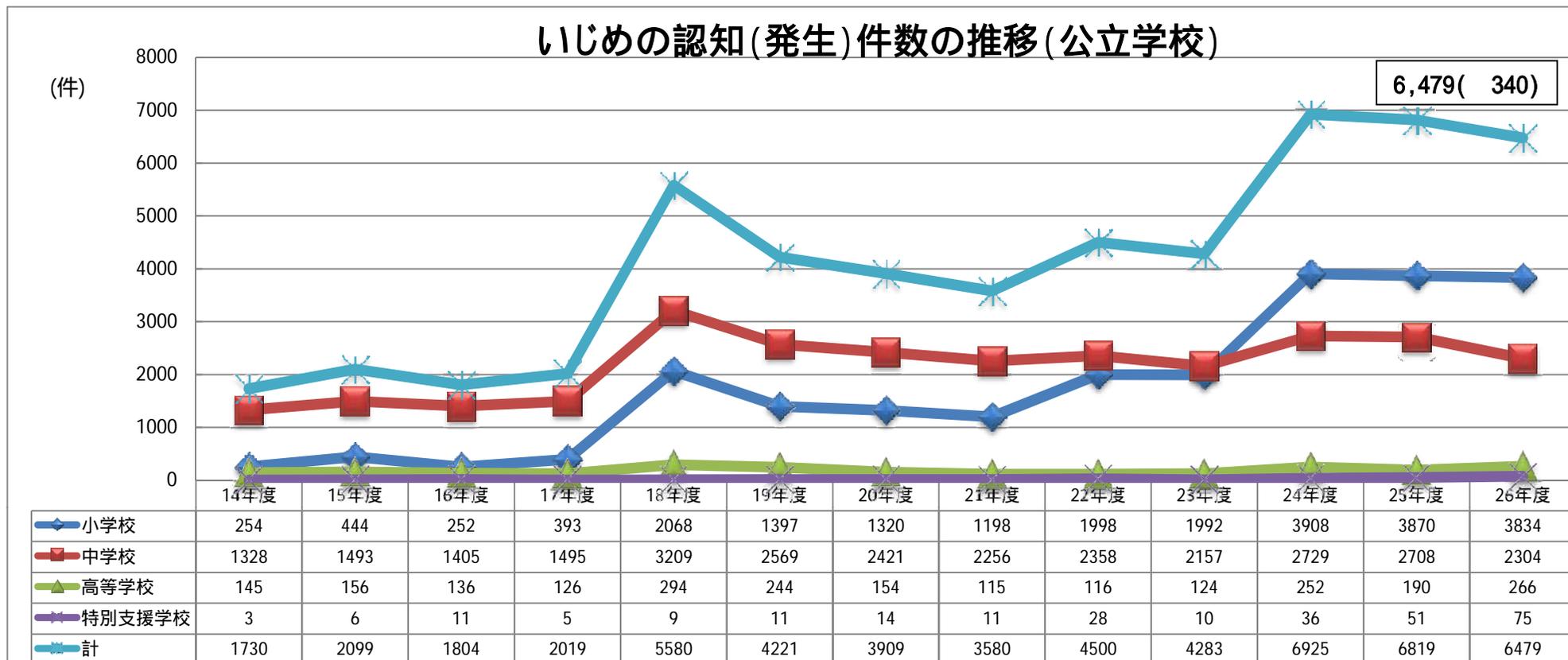
(2-3) 警察に相談・通報した校数・件数

区分	いじめを認知した学校数			いじめの認知件数		
	(単位:校)	うち、警察に相談・通報した学校数 (単位:校)	警察に相談・通報した 件数の割合 (単位:%)	(単位:件)	うち、警察に相談・通報した 件数 (単位:件)	警察に相談・通報した 件数の割合 (単位:%)
小学校	641	20	3.1	3,834	31	0.8
中学校	359	32	8.9	2,304	38	1.6
高等学校	82	4	4.9	266	6	2.3
特別支援学校	16	0	0.0	75	0	0.0
計	1,098	56	5.1	6,479	75	1.2

(注1)「うち、警察に相談・通報した学校数(単位:校)」は、平成26年度間において、1件以上のいじめについて警察に相談・通報した場合1校とする。

(注2)「うち、警察に相談・通報した件数(単位:件)」は、「認知件数(単位:件)」のうち、犯罪行為として取り扱われるべきと認められる事案や、いじめられている児童生徒の生命、身体又は財産に重大な被害が生じるような事案等、学校が警察に相談・通報した件数とする。なお、学校関与のもと、いじめを受けた児童生徒の保護者等が被害届を提出した場合も件数に含める。

いじめの認知(発生)件数の推移



(2 - 4)いじめの現在の状況

区分	解消しているもの		一定の解消が図られたが、継続支援中		解消に向けて取組中		その他		計	
	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)
小学校	2,743	71.5	1,016	26.5	46	1.2	29	0.8	3,834	100
中学校	1,800	78.1	477	20.7	14	0.6	13	0.6	2,304	100
高等学校	235	88.3	24	9.0	4	1.5	3	1.1	266	100
特別支援学校	36	48.0	35	46.7	3	4.0	1	1.3	75	100
計	4,814	74.3	1,552	24.0	67	1.0	46	0.7	6,479	100

(2-5) いじめの発見のきっかけ

[平成26年度神奈川県児童・生徒の問題行動等調査結果]

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)
学校の教職員等が発見	1,472	38.4	887	38.5	194	72.9	36	48.0	2,589	40.0
学級担任が発見	982	25.6	469	20.4	13	4.9	14	18.7	1,478	22.8
学級担任以外の教職員が発見(養護教諭、スクールカウンセラー等の相談員を除く)	117	3.1	166	7.2	10	3.8	5	6.7	298	4.6
養護教諭が発見	26	0.7	15	0.7	1	0.4	0	0.0	42	0.6
スクールカウンセラー等の外部の相談員が発見	7	0.2	10	0.4	0	0.0	0	0.0	17	0.3
アンケート調査など学校の取組により発見	340	8.9	227	9.9	170	63.9	17	22.7	754	11.6
学校の教職員等以外からの情報により発見	2,362	61.6	1,417	61.5	72	27.1	39	52.0	3,890	60.0
本人からの訴え	814	21.2	784	34.0	41	15.4	28	37.3	1,667	25.7
当該児童・生徒(本人)の保護者からの訴え	1,055	27.5	429	18.6	11	4.1	8	10.7	1,503	23.2
児童・生徒(本人を除く)からの情報	248	6.5	127	5.5	11	4.1	2	2.7	388	6.0
保護者(本人の保護者を除く)からの情報	226	5.9	58	2.5	5	1.9	0	0.0	289	4.5
地域住民からの情報	8	0.2	8	0.3	1	0.4	0	0.0	17	0.3
学校以外の関係機関(相談機関等を含む)からの情報	8	0.2	9	0.4	1	0.4	1	1.3	19	0.3
その他(匿名による投書など)	3	0.1	2	0.1	2	0.8	0	0.0	7	0.1
計	3,834	100	2,304	100	266	100	75	100	6,479	100

(注)「学校の教職員等が発見」が「学校の教職員以外からの情報により発見」のいずれかを選択し、その内訳についても該当するものを一つ選択している。

(2-6) いじめられた児童・生徒の相談状況

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)
学級担任に相談	2,426	63.3	1,690	73.4	163	61.3	56	74.7	4,335	66.9
学級担任以外の教職員に相談(養護教諭、スクールカウンセラー等の相談員を除く)	620	16.2	473	20.5	38	14.3	18	24.0	1,149	17.7
養護教諭に相談	198	5.2	119	5.2	27	10.2	6	8.0	350	5.4
スクールカウンセラー等の相談員に相談	112	2.9	127	5.5	7	2.6	3	4.0	249	3.8
学校以外の相談機関に相談(電話相談やメール等も含む)	44	1.1	47	2.0	2	0.8	1	1.3	94	1.5
保護者や家族等に相談	1,529	39.9	699	30.3	29	10.9	18	24.0	2,275	35.1
友人に相談	216	5.6	151	6.6	21	7.9	3	4.0	391	6.0
その他(地域の人など)	13	0.3	5	0.2	0	0.0	0	0.0	18	0.3
誰にも相談していない	240	6.3	88	3.8	57	21.4	3	4.0	388	6.0
いじめの認知件数	3,834		2,304		266		75		6,479	

(注1) 複数回答のため、件数の合計は認知件数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。(注2) 構成比は、各区分における認知件数に対する割合。

(2-7)いじめの態様

【平成26年度神奈川県児童・生徒の問題行動等調査結果】

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)
冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる	2,469	64.4	1,473	63.9	141	53.0	41	54.7	4,124	63.7
仲間はずれ、集団による無視をされる	780	20.3	266	11.5	42	15.8	6	8.0	1,094	16.9
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする	783	20.4	360	15.6	34	12.8	13	17.3	1,190	18.4
ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする	185	4.8	140	6.1	25	9.4	9	12.0	359	5.5
金品をたかられる	32	0.8	34	1.5	13	4.9	1	1.3	80	1.2
金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする	224	5.8	145	6.3	11	4.1	5	6.7	385	5.9
嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする	236	6.2	163	7.1	23	8.6	8	10.7	430	6.6
パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷や嫌なことをされる	70	1.8	190	8.2	77	28.9	4	5.3	341	5.3
その他	163	4.3	52	2.3	26	9.8	11	14.7	252	3.9
いじめの認知件数	3,834		2,304		266		75		6,479	

(注1) 複数回答のため、件数の合計は認知件数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。(注2) 構成比は、各区分における認知件数に対する割合。

(2-8)いじめの児童・生徒への対応

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計		
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	
学級担任や他の教職員が状況を聞く	3,433	89.5	2,116	91.8	201	75.6	66	88.0	5,816	89.8	
養護教諭が状況を聞く	234	6.1	75	3.3	7	2.6	2	2.7	318	4.9	
スクールカウンセラー等の相談員が状況を聞く	83	2.2	39	1.7	7	2.6	2	2.7	131	2.0	
スクールカウンセラー等の相談員がカウンセリングを行う	49	1.3	42	1.8	9	3.4	2	2.7	102	1.6	
学級担任や他の教職員が指導	2,952	77.0	1,932	83.9	150	56.4	40	53.3	5,074	78.3	
養護教諭が指導	170	4.4	17	0.7	15	5.6	0	0.0	202	3.1	
校長、教頭が指導	435	11.3	47	2.0	55	20.7	3	4.0	540	8.3	
別室指導	780	20.3	495	21.5	49	18.4	7	9.3	1,331	20.5	
グループ替えや席替え、学級替え等	799	20.8	152	6.6	12	4.5	7	9.3	970	15.0	
退学 懲戒処分としての退学	-	-	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
転学 その他	0	0.0	2	0.1	9	3.4	0	0.0	11	0.2	
停学	-	-	-	-	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
出席停止	0	0.0	0	0.0	-	-	-	-	0	0.0	
自宅学習・自宅謹慎	-	-	-	-	23	8.6	6	8.0	29	0.4	
訓告	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
保護者への報告	2,371	61.8	1,473	63.9	118	44.4	22	29.3	3,984	61.5	
いじめられた児童・生徒やその保護者に対する謝罪の指導	1,779	46.4	1,296	56.3	45	16.9	17	22.7	3,137	48.4	
関係機関との連携	ア 警察等の刑事司法機関等との連携	37	1.0	40	1.7	3	1.1	0	0.0	80	1.2
	イ 児童相談所等の福祉機関等との連携	13	0.3	7	0.3	0	0.0	4	5.3	24	0.4
	ウ 病院等の医療機関等との連携	7	0.2	4	0.2	1	0.4	3	4.0	15	0.2
	エ その他の専門的な関係機関との連携	34	0.9	4	0.2	0	0.0	2	2.7	40	0.6
	オ 地域の人材や団体等との連携	15	0.4	0	0.0	0	0.0	1	1.3	16	0.2
その他	5	0.1	11	0.5	16	6.0	4	5.3	36	0.6	
いじめの認知件数	3,834		2,304		266		75		6,479		

(注1) 複数回答のため、件数の合計は認知件数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。(注2) 構成比は、各区分における認知件数に対する割合。

(2-9)いじめられた児童・生徒への対応

【平成26年度神奈川県児童・生徒の問題行動等調査結果】

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)
学級担任や他の教職員が状況を聞く	3,595	93.8	2,201	95.5	239	89.8	70	93.3	6,105	94.2
養護教諭が状況を聞く	382	10.0	198	8.6	39	14.7	10	13.3	629	9.7
スクールカウンセラー等の相談員が状況を聞く	182	4.7	166	7.2	23	8.6	4	5.3	375	5.8
学級担任や他の教職員が継続的にケアを行う	1,716	44.8	1,342	58.2	131	49.2	22	29.3	3,211	49.6
養護教諭が継続的に面談しケアを行う	191	5.0	143	6.2	25	9.4	1	1.3	360	5.6
スクールカウンセラー等の相談員が継続的にカウンセリングを行う	84	2.2	155	6.7	17	6.4	5	6.7	261	4.0
別室を提供したり、常時教職員が付くなどして心身の安全を確保	189	4.9	153	6.6	9	3.4	8	10.7	359	5.5
緊急避難としての欠席	25	0.7	11	0.5	5	1.9	3	4.0	44	0.7
他の児童・生徒に対し、助力・支援を個別に依頼	371	9.7	238	10.3	13	4.9	8	10.7	630	9.7
学級担任や他の教職員等が家庭訪問を実施	252	6.6	539	23.4	16	6.0	2	2.7	809	12.5
グループ替えや席替え、学級替え等	900	23.5	155	6.7	14	5.3	3	4.0	1,072	16.5
当該いじめについて、教育委員会と連携して対応	103	2.7	67	2.9	10	3.8	3	4.0	183	2.8
児童相談所等の関係機関と連携した対応(サポートチームなども含む)	37	1.0	18	0.8	3	1.1	2	2.7	60	0.9
その他	14	0.4	8	0.3	20	7.5	1	1.3	43	0.7
いじめの認知件数	3,834		2,304		266		75		6,479	

(注1)複数回答のため、件数の合計は認知件数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。(注2)構成比は、各区分における認知件数に対する割合。

(2-10)学校におけるいじめの問題に対する日常の取組

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)
職員会議等を通じていじめ問題について教職員間で共通理解を図った	856	100.0	414	100.0	165	88.7	42	91.3	1,477	98.3
いじめ問題に関する校内研修を実施した。	660	77.1	312	75.4	92	49.5	30	65.2	1,094	72.8
道徳や学級活動の時間にいじめにかかわる問題を取り上げ、指導を行った	790	92.3	376	90.8	79	42.5	29	63.0	1,274	84.8
児童・生徒会活動を通じて、いじめの問題を考えさせたり、生徒同士の人間関係や仲間作りを促進した	576	67.3	296	71.5	43	23.1	19	41.3	934	62.2
スクールカウンセラー、相談員、養護教諭を積極的に活用して相談にあたった	630	73.6	321	77.5	149	80.1	18	39.1	1,118	74.4
いじめ問題に対応するため、校内組織の整備など教育相談体制の充実を図った	738	86.2	357	86.2	163	87.6	40	87.0	1,298	86.4
教育相談の実施について、必要に応じて教育センターなどの専門機関と連携を図るとともに、学校以外の相談窓口の周知や広報の徹底を図った	531	62.0	239	57.7	85	45.7	15	32.6	870	57.9
学校におけるいじめへの対応方針や指導計画等を公表し、保護者や地域住民の理解を得よう努めた	856	100.0	414	100.0	123	66.1	20	43.5	1,413	94.1
P T Aや地域の関係団体等とともに、いじめの問題について協議する機会を設けた	260	30.4	140	33.8	14	7.5	4	8.7	418	27.8
いじめの問題に対し、地域の関係機関と連携協力した対応を図った	206	24.1	116	28.0	17	9.1	4	8.7	343	22.8
その他	21	2.5	8	1.9	8	4.3	1	2.2	38	2.5
学校総数	856		414		186		46		1,502	

(注1)複数回答のため、校数の合計は学校総数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。(注2)構成比は、各区分における学校総数に対する割合。

【いじめを認知した学校】

区分		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
		校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)
アンケート調査の実施		641	100.0	359	100.0	82	100.0	15	93.8	1,097	99.9
実施頻度	ア 年1回	72	11.2	25	7.0	11	13.4	9	56.3	117	10.7
	イ 年2～3回	495	77.2	232	64.6	69	84.1	6	37.5	802	73.0
	ウ 年4回以上	74	11.5	102	28.4	2	2.4	0	0.0	178	16.2
調査方法	ア 記名式	398	62.1	257	71.6	35	42.7	5	31.3	695	63.3
	イ 無記名式	386	60.2	195	54.3	46	56.1	7	43.8	634	57.7
	ウ 選択式	69	10.8	45	12.5	23	28.0	4	25.0	141	12.8
個別面談の実施		455	71.0	313	87.2	66	80.5	12	75.0	846	77.0
「個人ノート」や「生活ノート」といったような教職員と児童・生徒との間で日常的に行われている日記等		258	40.2	160	44.6	4	4.9	4	25.0	426	38.8
家庭訪問		325	50.7	239	66.6	8	9.8	6	37.5	578	52.6
その他		21	3.3	7	1.9	5	6.1	1	6.3	34	3.1
いじめを認知した学校数		641		359		82		16		1,098	

(注1)複数回答のため、校数の合計はいじめを認知していない学校数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。

(注2)構成比は、各区分におけるいじめを認知した学校数に対する割合。

【いじめを認知していない学校】

区分		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
		校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)
アンケート調査の実施		215	100.0	55	100.0	102	98.1	20	66.7	392	97.0
実施頻度	ア 年1回	17	7.9	5	9.1	25	24.0	13	43.3	60	14.9
	イ 年2～3回	176	81.9	37	67.3	74	71.2	7	23.3	294	72.8
	ウ 年4回以上	22	10.2	13	23.6	3	2.9	0	0.0	38	9.4
調査方法	ア 記名式	126	58.6	34	61.8	39	37.5	7	23.3	206	51.0
	イ 無記名式	78	36.3	28	50.9	53	51.0	12	40.0	171	42.3
	ウ 選択式	26	12.1	5	9.1	22	21.2	2	6.7	55	13.6
個別面談の実施		157	73.0	44	80.0	69	66.3	17	56.7	287	71.0
「個人ノート」や「生活ノート」といったような教職員と児童・生徒との間で日常的に行われている日記等		117	54.4	13	23.6	4	3.8	7	23.3	141	34.9
家庭訪問		122	56.7	29	52.7	5	4.8	9	30.0	165	40.8
その他		13	6.0	4	7.3	2	1.9	3	10.0	22	5.4
いじめを認知していない学校数		215		55		104		30		404	

(注1)複数回答のため、校数の合計はいじめを認知していない学校数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。

(注2)構成比は、各区分におけるいじめを認知していない学校数に対する割合。

【合計】

【平成26年度神奈川県児童・生徒の問題行動等調査結果】

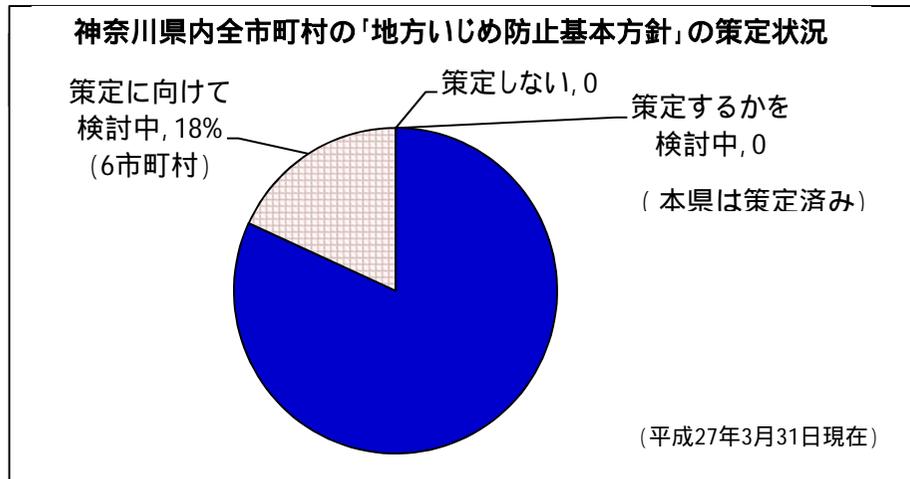
区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計		
	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	
アンケート調査の実施	856	100.0	414	100.0	184	98.9	35	76.1	1,489	99.1	
実施頻度	ア 年1回	89	10.4	30	7.2	36	19.4	22	47.8	177	11.8
	イ 年2～3回	671	78.4	269	65.0	143	76.9	13	28.3	1,096	73.0
	ウ 年4回以上	96	11.2	115	27.8	5	2.7	0	0.0	216	14.4
調査方法	ア 記名式	524	61.2	291	70.3	74	39.8	12	26.1	901	60.0
	イ 無記名式	464	54.2	223	53.9	99	53.2	19	41.3	805	53.6
	ウ 選択式	95	11.1	50	12.1	45	24.2	6	13.0	196	13.0
個別面談の実施	612	71.5	357	86.2	135	72.6	29	63.0	1,133	75.4	
「個人ノート」や「生活ノート」といったような教職員と児童・生徒との間で日常的に行われている日記等	375	43.8	173	41.8	8	4.3	11	23.9	567	37.7	
家庭訪問	447	52.2	268	64.7	13	7.0	15	32.6	743	49.5	
その他	34	4.0	11	2.7	7	3.8	4	8.7	56	3.7	
学校総数	856		414		186		46		1,502		

(注1)複数回答のため、校数の合計は学校総数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。

(注2)構成比は、各区分における学校総数に対する割合。

(参考)

「いじめ防止対策推進法」に関して



いじめ防止対策推進法第28条第1項に規定する「重大事態」の発生状況

区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
重大事態発生件数(校)	6	5	1	0	12
重大事態発生件数(件)	7	6	1	0	14
うち、第1号	2	1	0	0	3
うち、第2号	5	5	1	0	11

*いじめ防止対策推進法第28条第1項第1号の規定は「いじめにより当該学校に在籍する児童等の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき。」であり、同項第2号の規定は「いじめにより当該学校に在籍する児童等が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認めるとき。」である。

いじめ防止対策推進法第30条第2項及び第31条第2項に規定する調査(再調査)について

区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
再調査を行った件数(校)	0	0	0	0	0

(2-12)いじめの問題により就学校の指定変更等を受けた児童・生徒数

区分	小学校							中学校				特別支援学校			合計
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生	計	小学部	中学部	計	
平成26年度	0	0	0	1	1	2	4	7	8	7	22	0	0	0	26

就学校の指定の変更又は区域外就学を認めた市町村数	9
--------------------------	---

3 長期欠席・不登校児童・生徒の状況【公立小・中学校】

(3-1) 学年別不登校児童・生徒数

区分	小学校							中学校				合計
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生	計	
不登校児童・生徒数	138	193	312	432	599	769	2,443	1,698	2,401	2,821	6,920	9,363

(参考1)

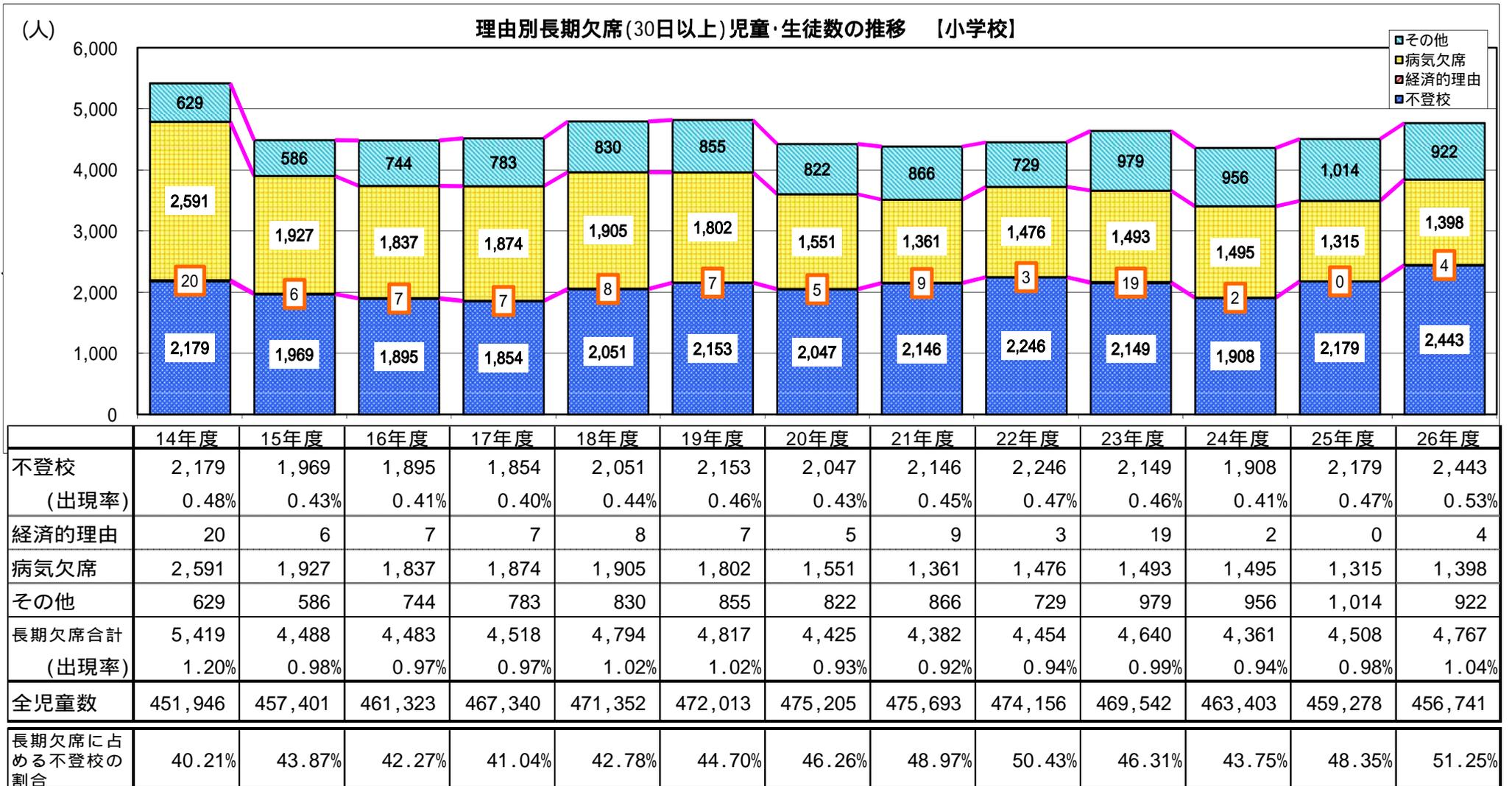
不登校児童・生徒(30日以上欠席者)の推移

区分	小学校				中学校				計			
	(A) 全児童数 (人)	(B) 不登校 児童数(人)	出現率 (B/A × 100)(%)	不登校児童 数の増減率 (%)	(A) 全生徒数 (人)	(B) 不登校 生徒数 (人)	出現率 (B/A × 100)(%)	不登校 生徒数の 増減率 (%)	(A) 全児童・ 生徒数(人)	(B) 不登校児 童・生徒 数(人)	出現率 (B/A × 100)(%)	不登校児 童・生徒数 の増減率 (%)
7年度	487,323	1,026	0.21	-	237,307	3,905	1.65	-	724,630	4,931	0.68	-
8年度	471,538	1,102	0.23	7.4	233,874	4,341	1.86	11.2	705,412	5,443	0.77	10.4
9年度	459,642	1,151	0.25	4.4	230,087	4,789	2.08	10.3	689,729	5,940	0.86	9.1
10年度	452,936	1,900	0.42	65.1	223,600	6,625	2.96	38.3	676,536	8,525	1.26	43.5
11年度	448,955	1,644	0.37	13.5	215,077	6,599	3.07	0.4	664,032	8,243	1.24	3.3
12年度	445,809	1,726	0.39	5.0	208,985	6,776	3.24	2.7	654,794	8,502	1.30	3.1
13年度	447,963	1,780	0.40	3.1	205,176	7,267	3.54	7.2	653,139	9,047	1.39	6.4
14年度	451,946	2,179	0.48	22.4	200,182	7,123	3.56	2.0	652,128	9,302	1.43	2.8
15年度	457,401	1,969	0.43	9.6	194,953	7,007	3.59	1.6	652,354	8,976	1.38	3.5
16年度	461,323	1,895	0.41	3.8	191,846	7,074	3.69	1.0	653,169	8,969	1.37	0.1
17年度	467,340	1,854	0.40	2.2	192,418	7,399	3.85	4.6	659,758	9,253	1.40	3.2
18年度	471,352	2,051	0.44	10.6	194,015	7,806	4.02	5.5	665,367	9,857	1.48	6.5
19年度	472,013	2,153	0.46	5.0	197,604	7,949	4.02	1.8	669,617	10,102	1.51	2.5
20年度	475,205	2,047	0.43	4.9	199,652	7,992	4.00	0.5	674,857	10,039	1.49	0.6
21年度	475,693	2,146	0.45	4.8	202,448	7,673	3.79	4.0	678,141	9,819	1.45	2.2
22年度	474,156	2,246	0.47	4.7	203,132	7,556	3.72	1.5	677,288	9,802	1.45	0.2
23年度	469,542	2,149	0.46	4.3	207,684	7,132	3.43	5.6	677,226	9,281	1.37	5.3
24年度	463,403	1,908	0.41	11.2	209,568	6,646	3.17	6.8	672,971	8,554	1.27	7.8
25年度	459,278	2,179	0.47	14.2	210,880	6,819	3.23	2.6	670,158	8,998	1.34	5.2
26年度	456,741	2,443	0.53	12.1	210,296	6,920	3.29	1.5	667,037	9,363	1.40	4.1

(参考2)

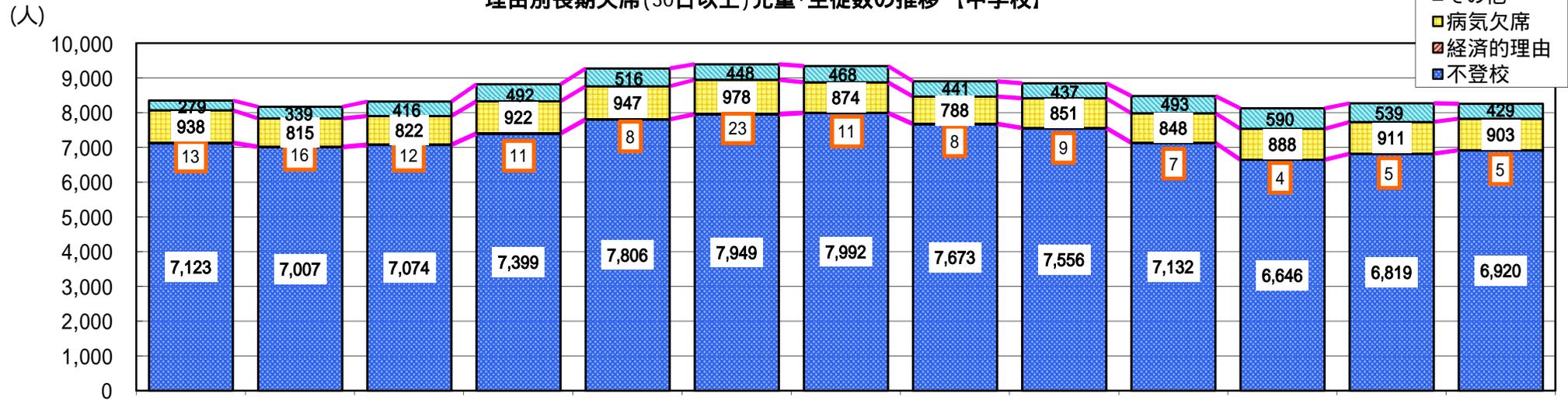
公立小・中学校 理由別長期欠席(30日以上)児童・生徒数の推移 (「学校基本調査」結果より)

【小学校】



【中学校】

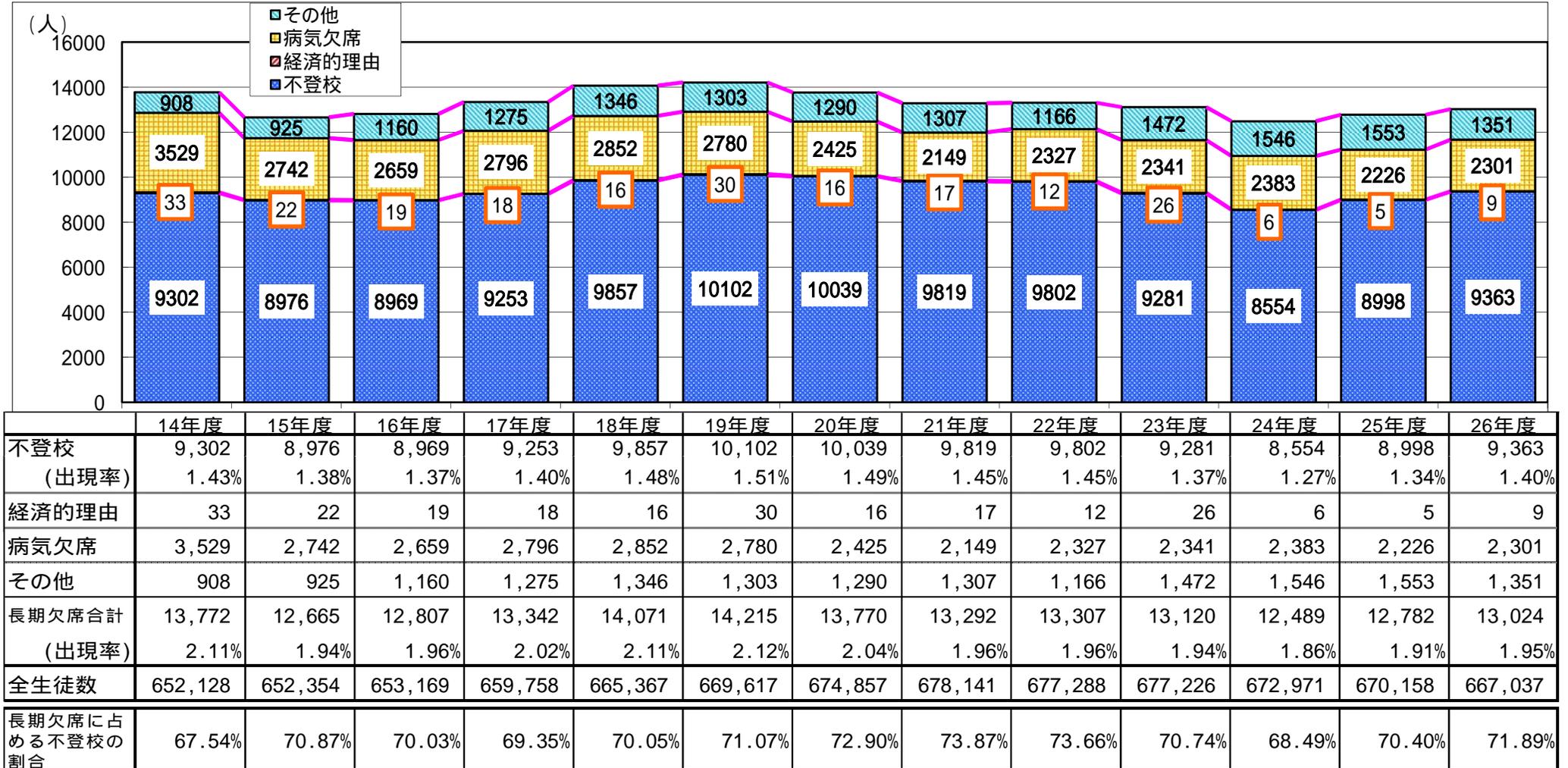
理由別長期欠席(30日以上)児童・生徒数の推移【中学校】



	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
不登校	7,123	7,007	7,074	7,399	7,806	7,949	7,992	7,673	7,556	7,132	6,646	6,819	6,920
(出現率)	3.56%	3.59%	3.69%	3.85%	4.02%	4.02%	4.00%	3.79%	3.72%	3.43%	3.17%	3.23%	3.29%
経済的理由	13	16	12	11	8	23	11	8	9	7	4	5	5
病気欠席	938	815	822	922	947	978	874	788	851	848	888	911	903
その他	279	339	416	492	516	448	468	441	437	493	590	539	429
長期欠席合計	8,353	8,177	8,324	8,824	9,277	9,398	9,345	8,910	8,853	8,480	8,128	8,274	8,257
(出現率)	4.17%	4.19%	4.34%	4.59%	4.78%	4.76%	4.68%	4.40%	4.36%	4.08%	3.88%	3.92%	3.93%
全生徒数	200,182	194,953	191,846	192,418	194,015	197,604	199,652	202,448	203,132	207,684	209,568	210,880	210,296
長期欠席に占める不登校の割合	85.27%	85.69%	84.98%	83.85%	84.14%	84.58%	85.52%	86.12%	85.35%	84.10%	81.77%	82.41%	83.81%

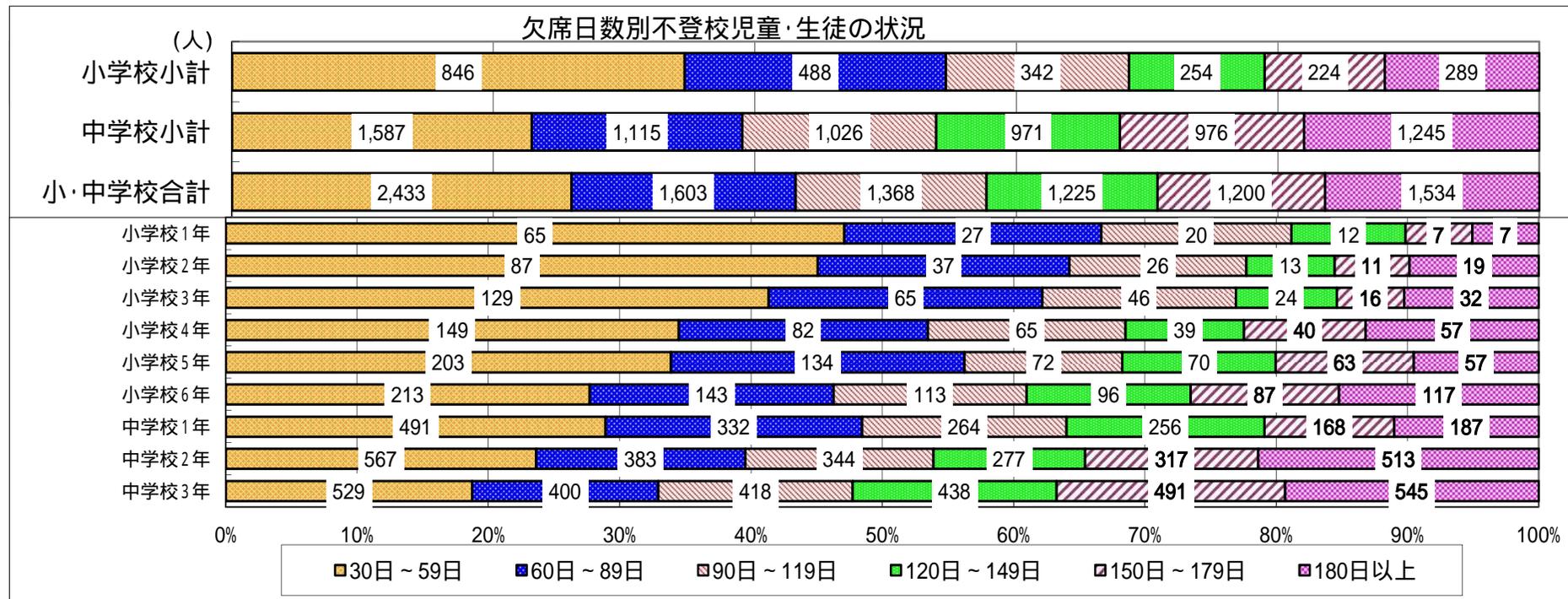
【小・中学校合計】

理由別長期欠席(30日以上)児童・生徒数の推移【小・中学校合計】



(3 - 2) 欠席日数別不登校児童・生徒の状況

区分	学年	不登校児童・生徒数	欠席日数											
			30日～59日		60日～89日		90日～119日		120日～149日		150日～179日		180日以上	
			人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
小学校	1年生	138	65	47.1	27	19.6	20	14.5	12	8.7	7	5.1	7	5.1
	2年生	193	87	45.1	37	19.2	26	13.5	13	6.7	11	5.7	19	9.8
	3年生	312	129	41.3	65	20.8	46	14.7	24	7.7	16	5.1	32	10.3
	4年生	432	149	34.5	82	19.0	65	15.0	39	9.0	40	9.3	57	13.2
	5年生	599	203	33.9	134	22.4	72	12.0	70	11.7	63	10.5	57	9.5
	6年生	769	213	27.7	143	18.6	113	14.7	96	12.5	87	11.3	117	15.2
	計	2,443	846	34.6	488	20.0	342	14.0	254	10.4	224	9.2	289	11.8
中学校	1年生	1,698	491	28.9	332	19.6	264	15.5	256	15.1	168	9.9	187	11.0
	2年生	2,401	567	23.6	383	16.0	344	14.3	277	11.5	317	13.2	513	21.4
	3年生	2,821	529	18.8	400	14.2	418	14.8	438	15.5	491	17.4	545	19.3
	計	6,920	1,587	22.9	1,115	16.1	1,026	14.8	971	14.0	976	14.1	1,245	18.0
合計	合計	9,363	2,433	26.0	1,603	17.1	1,368	14.6	1,225	13.1	1,200	12.8	1,534	16.4



(3-3) 不登校児童・生徒の在籍学校数

区分	公立学校総数 (A)(校)	不登校児童・生徒 在籍学校数(B)(校)	比率(%) (B/A × 100)
小学校	856	673	78.6
中学校	414	404	97.6
計	1,270	1,077	84.8

(3-4) 不登校になったきっかけと考えられる状況

区分	小学校		中学校		計	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
学校に係る状況	865	35.4	3,336	48.2	4,201	44.9
いじめ	46	1.9	160	2.3	206	2.2
いじめを除く友人関係をめぐる問題	318	13.0	1,389	20.1	1,707	18.2
教職員との関係をめぐる問題	112	4.6	157	2.3	269	2.9
学業の不振	283	11.6	909	13.1	1,192	12.7
進路にかかる不安	17	0.7	145	2.1	162	1.7
クラブ活動、部活動等への不適応	3	0.1	214	3.1	217	2.3
学校のきまり等をめぐる問題	15	0.6	144	2.1	159	1.7
入学、転編入学、進級時の不適応	71	2.9	218	3.2	289	3.1
家庭に係る状況	1,112	45.5	1,643	23.7	2,755	29.4
家庭の生活環境の急激な変化	257	10.5	399	5.8	656	7.0
親子関係をめぐる問題	686	28.1	876	12.7	1,562	16.7
家庭内の不和	169	6.9	368	5.3	537	5.7
本人に係る状況	2,306	94.4	6,567	94.9	8,873	94.8
病気による欠席	345	14.1	692	10.0	1,037	11.1
あそび・非行	23	0.9	687	9.9	710	7.6
無気力	512	21.0	2,095	30.3	2,607	27.8
不安など情緒的混乱	1,090	44.6	2,433	35.2	3,523	37.6
意図的な拒否	185	7.6	370	5.3	555	5.9
その他本人に関わる問題	151	6.2	290	4.2	441	4.7
その他	168	6.9	55	0.8	223	2.4
不明	55	2.3	136	2.0	191	2.0

不登校児童・生徒数	2,443	6,920	9,363
-----------	-------	-------	-------

(注1)複数回答を可とする。(各区分の人数の合計は不登校児童・生徒数とはならない)

(注2)構成比は、各区分における不登校児童・生徒数に対する割合

(3-5) 不登校児童・生徒への指導結果状況

区分	小学校		中学校		計	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
指導の結果登校する又はできるようになった児童・生徒	1,169	47.9	2,912	42.1	4,081	43.6
指導中の児童・生徒	1,274	52.1	4,008	57.9	5,282	56.4
うち継続した登校には至らないものの好ましい変化が見られるようになった児童・生徒	500	20.5	1,764	25.5	2,264	24.2

(3-6) 「指導の結果登校する又はできるようになった児童・生徒」に特に効果のあった学校の措置

区分	小学校		中学校		計	
	校数(校)	割合(%)	校数(校)	割合(%)	校数(校)	割合(%)
学校内での指導の改善工夫						
不登校の問題について、研修会や事例研究会を通じて全教師の共通理解を図った。	136	20.2	150	37.1	286	26.6
全ての教師が当該児童・生徒に触れ合いを多くするなどして学校全体で指導にあたった。	166	24.7	184	45.5	350	32.5
教育相談担当の教師が専門的に指導にあたった。	148	22.0	91	22.5	239	22.2
養護教諭が専門的に指導にあたった。	139	20.7	121	30.0	260	24.1
スクールカウンセラー、相談員等が専門的に相談にあたった。	233	34.6	274	67.8	507	47.1
友人関係を改善するための指導を行った。	146	21.7	149	36.9	295	27.4
教師との触れ合いを多くするなど、教師との関係を改善した。	209	31.1	202	50.0	411	38.2
授業方法の改善、個別の指導など授業がわかるようにする工夫を行った。	113	16.8	98	24.3	211	19.6
様々な活動の場面において本人が意欲をもって活動できる場を用意した。	194	28.8	118	29.2	312	29.0
保健室等特別の場所に登校させて指導にあたった。	233	34.6	230	56.9	463	43.0
家庭への働きかけ						
登校を促すため、電話をかけたリ迎えに行くなどした。	332	49.3	258	63.9	590	54.8
家庭訪問を行い、学業や生活面での相談にのるなど様々な指導・援助を行った。	225	33.4	288	71.3	513	47.6
保護者の協力を求めて、家族関係や家庭生活の改善を図った。	235	34.9	179	44.3	414	38.4
他の機関との連携						
教育相談センター等の相談機関と連携して指導にあたった。	152	22.6	166	41.1	318	29.5
病院等の医療機関と連携して指導にあたった。	69	10.3	76	18.8	145	13.5
その他	17	2.5	15	3.7	32	3.0

(注1)複数回答を可とする。(各区分の学校数の合計は不登校児童・生徒の在籍学校数の合計とはならない) (注2)割合は、各区分における不登校児童・生徒の在籍する学校数に対する割合

(3-7) 相談・指導等を受けた学校内外の機関等及び指導要録上出席扱いとした児童・生徒数

区分	小学校				中学校				計					
	相談・指導等を受けた人数	指導要録上出席扱いした人数	指導要録上出席扱いした学校数	うち学校外の公的機関等に通所する場合の通学定期乗車券制度の適用を受けた人数(D)	相談・指導等を受けた人数	指導要録上出席扱いした人数	指導要録上出席扱いした学校数	うち学校外の公的機関等に通所する場合の通学定期乗車券制度の適用を受けた人数(D)	相談・指導等を受けた人数(A)	不登校児童・生徒数における(A)の割合	指導要録上出席扱いした人数(B)	B/A	指導要録上出席扱いした学校数(C)	うち学校外の公的機関等に通所する場合の通学定期乗車券制度の適用を受けた人数(D)
～ の機関等で相談・指導等を受けた人数(実数)	1,109	281	194	11	2,235	813	242	44	3,344	35.72	1,094	0.3	436	55
教育支援センター(適応指導教室)	203	120	94	3	784	518	189	28	987	10.54	638	0.6	283	31
教育センター等教育委員会所管の機関(を除く)	433	121	83	1	535	239	82	5	968	10.34	360	0.4	165	6
児童相談所、福祉事務所	289	17	13	1	416	41	34	1	705	7.53	58	0.1	47	2
保健所、精神福祉保健センター	38	0	0	0	31	2	1	0	69	0.74	2	0.0	1	0
病院、診療所	363	11	9	1	595	6	6	0	958	10.23	17	0.0	15	1
民間団体、民間施設	112	34	30	4	165	64	54	8	277	2.96	98	0.4	84	12
上記以外の機関等	54	7	7	1	122	15	12	3	176	1.88	22	0.1	19	4
～ の機関等で相談・指導等を受けていない人数(実数)	1,334	-	-	-	4,685	-	-	-	6,019	64.28	-	-	-	-
・ による相談・指導等を受けた人数(実数)	1,205	-	-	-	2,557	-	-	-	3,762	40.18	-	-	-	-
養護教諭による専門的な指導を受けた人数	462	-	-	-	668	-	-	-	1,130	12.07	-	-	-	-
スクールカウンセラー、相談員等による専門的な相談を受けた人数	1,079	-	-	-	2,228	-	-	-	3,307	35.32	-	-	-	-
・ による相談・指導等を受けていない人数(実数)	1,238	-	-	-	4,363	-	-	-	5,601	59.82	-	-	-	-
上記 ～ 、 、 による相談・指導等を受けていない人数(実数)	703	-	-	-	3,115	-	-	-	3,818	40.78	-	-	-	-

(注) ～ 、 、 は複数回答を可とする。

(3-8) 学校外の機関等で相談・指導等を受け、指導要録上出席扱いとした児童・生徒数

小学校	中学校	計
281	813	1,094

(3-9) 自宅におけるIT等を活用した学習活動を指導要録上出席扱いとした児童・生徒数

区分	小学校	中学校
指導要録上出席扱いとした児童・生徒数	40	50
うち「3-8」の機関等においても指導要録上の出席扱いを受けた児童・生徒数	6	5

(3 - 10)不登校の状態が前年度から継続している児童・生徒数

区分	小学校						中学校			
	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生	計
平成26年度不登校児童・生徒数	193	312	432	599	769	2,305	1,698	2,401	2,821	6,920
うち平成25年度から継続	73	147	231	321	460	1,232	658	1,392	2,026	4,076
比率(%)	37.8	47.1	53.5	53.6	59.8	53.4	38.8	58.0	71.8	58.9

(3 - 11)教育委員会が設置する「教育支援センター(適応指導教室)」の状況

区分	機関数 (箇所)	指導員数					
		常勤		非常勤		計	
		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
都道府県 設置	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
市町村 設置	63	32	14.7	185	85.3	217	100
計	63	32	14.7	185	85.3	217	100

4 長期欠席・不登校生徒の状況【公立高等学校】

【平成26年度神奈川県児童・生徒の問題行動等調査結果】

(4-1) 高等学校における理由別長期欠席者数

区分	在籍者数	理由別長期欠席者数										
		不登校		経済的理由		病気		その他		計		
		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
全 日 制	128,033	2,003	1.56	18	0.01	659	0.51	777	0.61	3,457	2.70	
内 訳	1 年 生	35,916	395	1.10	5	0.01	122	0.34	107	0.30	629	1.75
	2 年 生	34,440	480	1.39	8	0.02	193	0.56	137	0.40	818	2.38
	3 年 生	32,603	460	1.41	1	0.00	221	0.68	234	0.72	916	2.81
	単 位 制	25,074	668	2.66	4	0.02	123	0.49	299	1.19	1,094	4.36
定 時 制	9,282	1,673	18.02	364	3.92	234	2.52	1,217	13.11	3,488	37.58	
内 訳	1 年 生	1,278	191	14.95	27	2.11	28	2.19	197	15.41	443	34.66
	2 年 生	979	113	11.54	10	1.02	14	1.43	135	13.79	272	27.78
	3 年 生	1,028	136	13.23	16	1.56	18	1.75	123	11.96	293	28.50
	4 年 生	696	49	7.04	48	6.90	9	1.29	80	11.49	186	26.72
	単 位 制	5,301	1,184	22.34	263	4.96	165	3.11	682	12.87	2,294	43.27
計	137,315	3,676	2.68	382	0.28	893	0.65	1,994	1.45	6,945	5.06	
内 訳	1 年 生	37,194	586	1.58	32	0.09	150	0.40	304	0.82	1,072	2.88
	2 年 生	35,419	593	1.67	18	0.05	207	0.58	272	0.77	1,090	3.08
	3 年 生	33,631	596	1.77	17	0.05	239	0.71	357	1.06	1,209	3.59
	4 年 生	696	49	7.04	48	6.90	9	1.29	80	11.49	186	26.72
	単 位 制	30,375	1,852	6.10	267	0.88	288	0.95	981	3.23	3,388	11.15

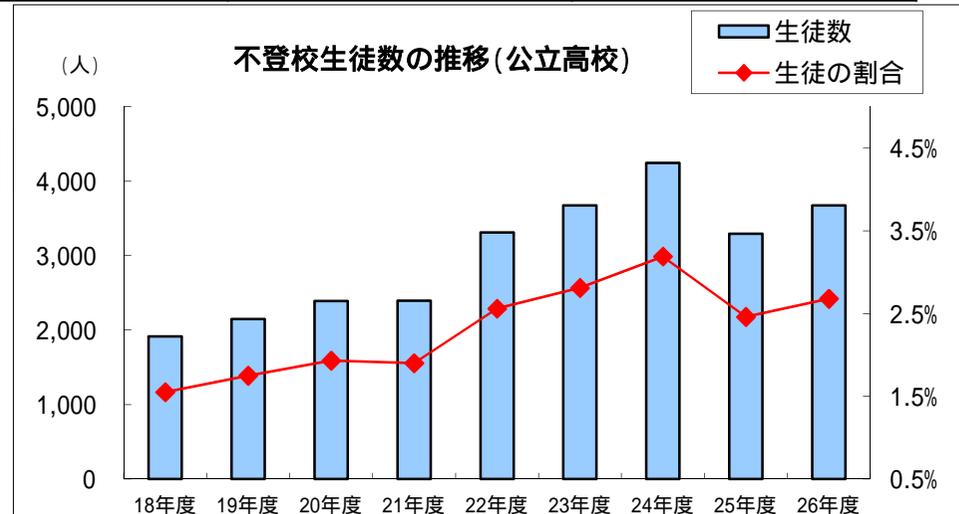
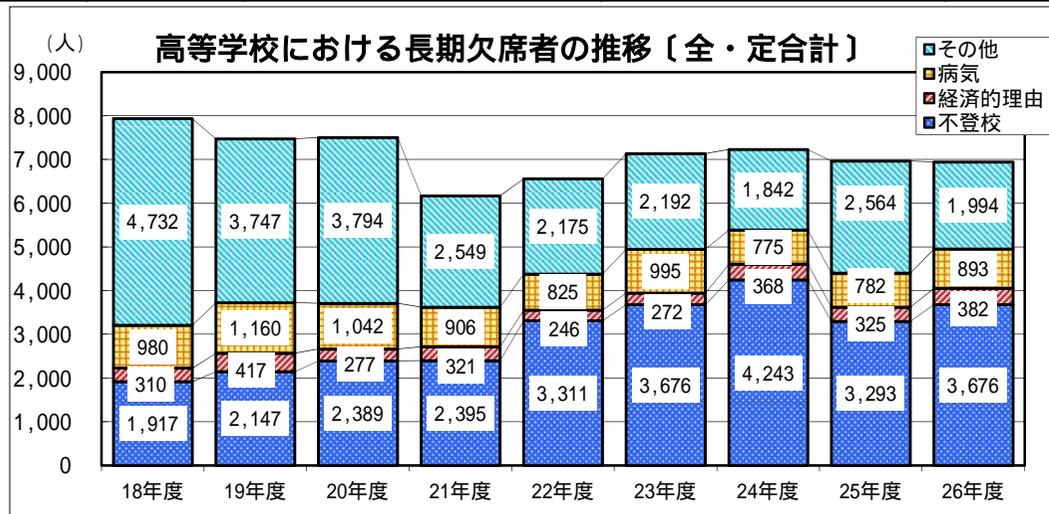
(注1)在籍者数は、平成26年5月1日現在

(注2)本調査における「不登校」については、学校基本調査の小中学校における理由別長期欠席者数において、「不登校」(=何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童・生徒が登校しないあるいはしたくともできない状況にあるもの(ただし、「病気や「経済的な理由」によるものを除く。))に該当するものを計上している。

(注3)パーセンテージは、在籍者数に占める理由別長期欠席者の割合

ア 公立高等学校合計

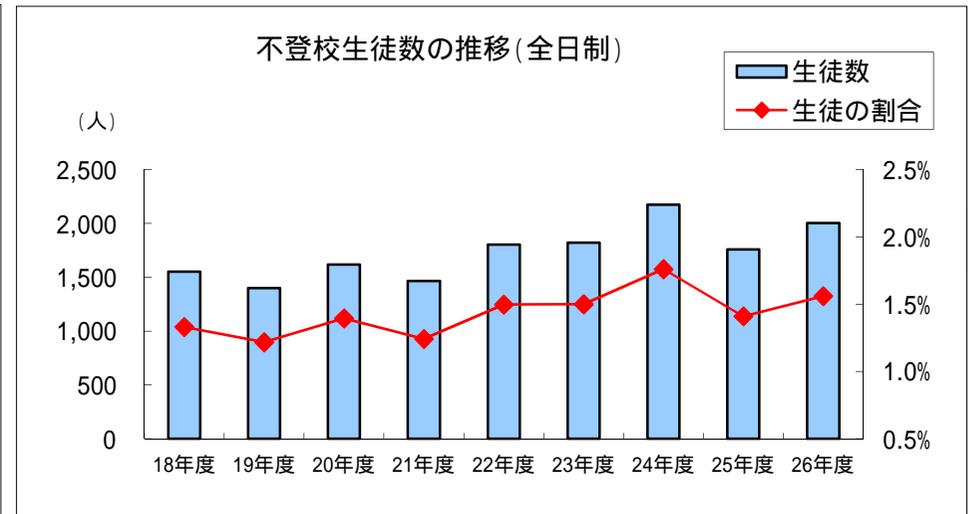
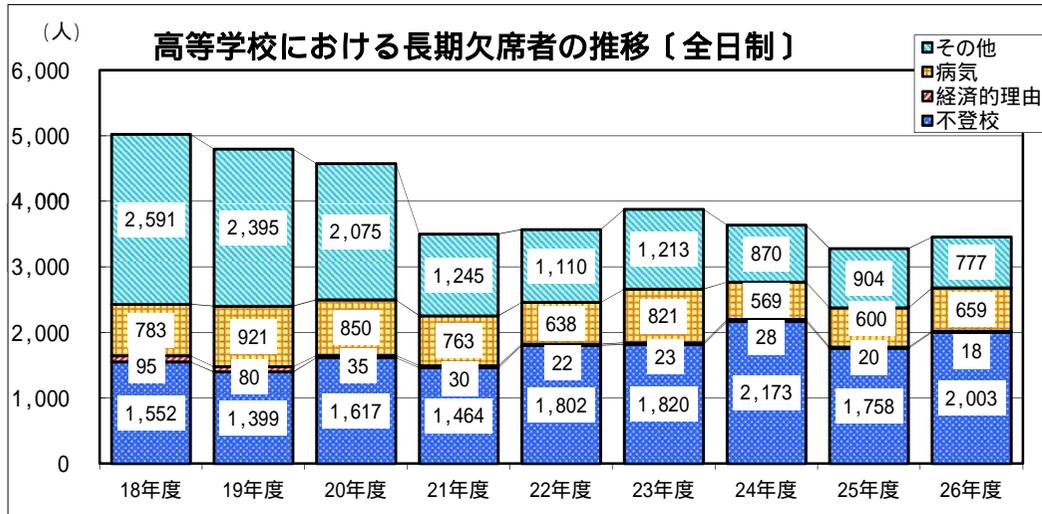
年度	在籍者数	不登校			経済的理由			病気			その他			計		
		生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)												
18年度	123,992	1,917	1.55	0.24	310	0.25	0.07	980	0.79	0.02	4,732	3.82	0.69	7,939	6.40	0.54
19年度	122,709	2,147	1.75	0.20	417	0.34	0.09	1,160	0.95	0.15	3,747	3.05	0.76	7,471	6.09	0.31
20年度	123,763	2,389	1.93	0.18	277	0.22	0.12	1,042	0.84	0.10	3,794	3.07	0.01	7,502	6.06	0.03
21年度	125,938	2,395	1.90	0.03	321	0.25	0.03	906	0.72	0.12	2,549	2.02	1.04	6,171	4.90	1.16
22年度	129,122	3,311	2.56	0.66	246	0.19	0.06	825	0.64	0.08	2,175	1.68	0.34	6,557	5.08	0.18
23年度	130,846	3,676	2.81	0.25	272	0.21	0.02	995	0.76	0.12	2,192	1.68	0.00	7,135	5.45	0.37
24年度	132,959	4,243	3.19	0.38	368	0.28	0.07	775	0.58	0.18	1,842	1.39	0.29	7,228	5.44	0.01
25年度	134,003	3,293	2.46	0.73	325	0.24	0.03	782	0.58	0.00	2,564	1.91	0.53	6,964	5.20	0.24
26年度	137,315	3,676	2.68	0.22	382	0.28	0.04	893	0.65	0.07	1,994	1.45	0.46	6,945	5.06	0.14



	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
不登校	1,917	2,147	2,389	2,395	3,311	3,676	4,243	3,293	3,676
(出現率) <%>	1.55	1.75	1.93	1.90	2.56	2.81	3.19	2.46	2.68
経済的理由	310	417	277	321	246	272	368	325	382
病気	980	1,160	1,042	906	825	995	775	782	893
その他	4,732	3,747	3,794	2,549	2,175	2,192	1,842	2,564	1,994
長期欠席合計	7,939	7,471	7,502	6,171	6,557	7,135	7,228	6,964	6,945
(出現率) <%>	6.40	6.09	6.06	4.90	5.08	5.45	5.44	5.20	5.06
全校生徒数	123,992	122,709	123,763	125,938	129,122	130,846	132,959	134,003	137,315
長期欠席に占める 不登校の割合 <%>	24.15	28.74	31.84	38.81	50.50	51.52	58.70	47.29	52.93

イ 公立高等学校全日制課程

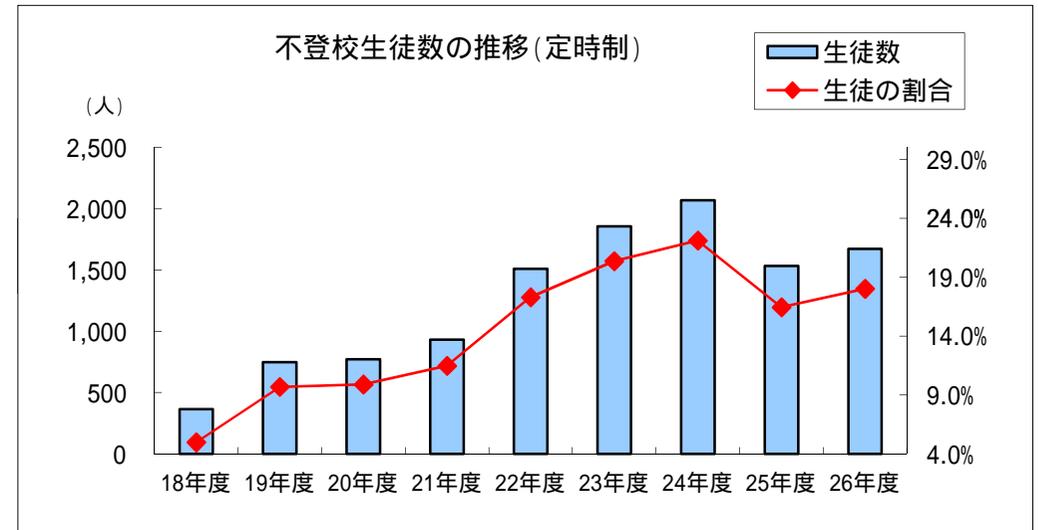
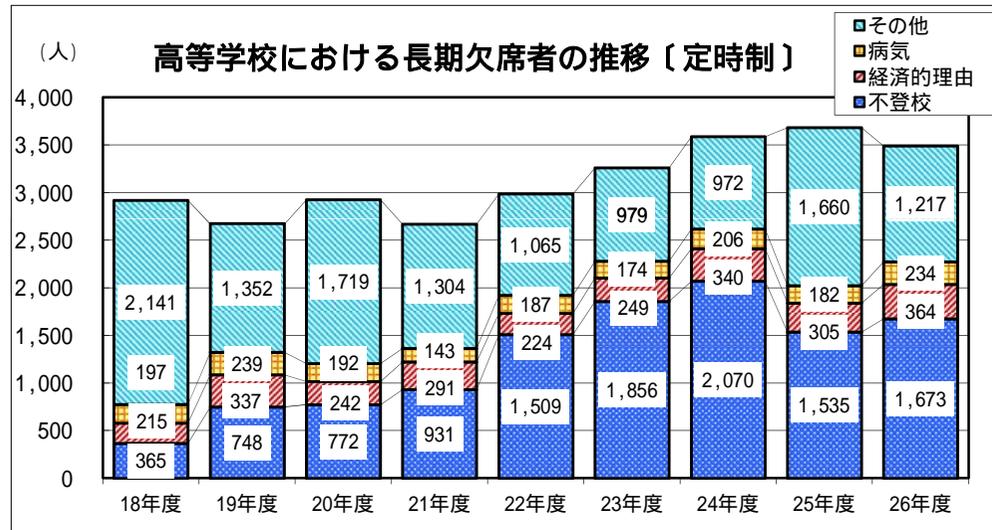
年度	在籍者数	不登校			経済的理由			病気			その他			計		
		生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)												
18年度	116,661	1,552	1.33	0.10	95	0.08	0.04	783	0.67	0.03	2,591	2.22	0.34	5,021	4.30	0.26
19年度	114,986	1,399	1.22	0.11	80	0.07	0.01	921	0.80	0.13	2,395	2.08	0.14	4,795	4.17	0.13
20年度	115,954	1,617	1.39	0.18	35	0.03	0.04	850	0.73	0.07	2,075	1.79	0.29	4,577	3.95	0.22
21年度	117,823	1,464	1.24	0.15	30	0.03	0.00	763	0.65	0.09	1,245	1.06	0.73	3,502	2.97	0.97
22年度	120,396	1,802	1.50	0.25	22	0.02	0.01	638	0.53	0.12	1,110	0.92	0.13	3,572	2.97	0.00
23年度	121,729	1,820	1.50	0.00	23	0.02	0.00	821	0.67	0.14	1,213	1.00	0.08	3,877	3.18	0.21
24年度	123,593	2,173	1.76	0.26	28	0.02	0.00	569	0.46	0.21	870	0.70	0.30	3,640	2.95	0.23
25年度	124,665	1,758	1.41	0.35	20	0.02	0.00	600	0.48	0.02	904	0.73	0.02	3,282	2.63	0.32
26年度	128,033	2,003	1.56	0.15	18	0.01	0.01	659	0.51	0.03	777	0.61	0.12	3,457	2.70	0.07



	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
不登校	1,552	1,399	1,617	1,464	1,802	1,820	2,173	1,758	2,003
(出現率) <%>	1.33	1.22	1.39	1.24	1.50	1.50	1.76	1.41	1.56
経済的理由	95	80	35	30	22	23	28	20	18
病気	783	921	850	763	638	821	569	600	659
その他	2,591	2,395	2,075	1,245	1,110	1,213	870	904	777
長期欠席合計	5,021	4,795	4,577	3,502	3,572	3,877	3,640	3,282	3,457
(出現率) <%>	4.30	4.17	3.95	2.97	2.97	3.18	2.95	2.63	2.70
全校生徒数	116,661	114,986	115,954	117,823	120,396	121,729	123,593	124,665	128,033
長期欠席に占める 不登校の割合 <%>	30.91	29.18	35.33	41.80	50.45	46.94	59.70	53.56	57.94

ウ 公立高等学校定時制課程

年度	在籍者数	不登校			経済的理由			病気			その他			計		
		生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)												
18年度	7,331	365	4.98	2.92	215	2.93	0.38	197	2.69	0.76	2,141	29.20	4.86	2,918	39.80	3.08
19年度	7,723	748	9.69	4.71	337	4.36	1.43	239	3.09	0.41	1,352	17.51	11.70	2,676	34.65	5.15
20年度	7,809	772	9.89	0.20	242	3.10	1.26	192	2.46	0.64	1,719	22.01	4.51	2,925	37.46	2.81
21年度	8,115	931	11.47	1.59	291	3.59	0.49	143	1.76	0.70	1,304	16.07	5.94	2,669	32.89	4.57
22年度	8,726	1,509	17.29	5.82	224	2.57	1.02	187	2.14	0.38	1,065	12.20	3.86	2,985	34.21	1.32
23年度	9,117	1,856	20.36	3.07	249	2.73	0.16	174	1.91	0.23	979	10.74	1.46	3,258	35.74	1.53
24年度	9,366	2,070	22.10	1.74	340	3.63	0.90	206	2.20	0.29	972	10.38	0.36	3,588	38.30	2.56
25年度	9,338	1,535	16.44	5.66	305	3.27	0.36	182	1.95	0.25	1,660	17.78	7.40	3,682	39.43	1.13
26年度	9,282	1,673	18.02	1.58	364	3.92	0.65	234	2.52	0.57	1,217	13.11	4.67	3,488	37.58	1.85



	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
不登校	365	748	772	931	1,509	1,856	2,070	1,535	1,673
(出現率) <%>	4.98	9.69	9.89	11.47	17.29	20.36	22.10	16.44	18.02
経済的理由	215	337	242	291	224	249	340	305	364
病気	197	239	192	143	187	174	206	182	234
その他	2,141	1,352	1,719	1,304	1,065	979	972	1,660	1,217
長期欠席合計	2,918	2,676	2,925	2,669	2,985	3,258	3,588	3,682	3,488
(出現率) <%>	39.30	34.65	37.46	32.89	34.21	35.74	38.31	39.43	37.58
全校生徒数	7,331	7,723	7,809	8,115	8,726	9,117	9,366	9,338	9,282
長期欠席に占める 不登校の割合 <%>	12.51	27.95	26.39	34.88	50.55	56.97	57.69	41.69	47.96

(4-2)不登校状態が前年度から継続している生徒数

区分		1年生		2年生		3年生		4年生		単位制		計	
		不登校生徒数	割合(%)										
全日制	不登校生徒数	395	-	480	-	460	-	-	-	668	-	2,003	-
	うち 前年度から継続	27	6.8	124	25.8	155	33.7	-	-	190	28.4	496	24.8
	うち その他	169	42.8	8	1.7	1	0.2	-	-	56	8.4	234	11.7
定時制	不登校生徒数	191	-	113	-	136	-	49	-	1,184	-	1,673	-
	うち 前年度から継続	38	19.9	60	53.1	84	61.8	26	53.1	632	53.4	840	50.2
	うち その他	49	25.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	175	14.8	224	13.4
計	不登校生徒数	586	-	593	-	596	-	49	-	1,852	-	3,676	-
	うち 前年度から継続	65	11.1	184	31.0	239	40.1	26	53.1	822	44.4	1,336	36.3
	うち その他	218	37.2	8	1.3	1	0.2	0	0.0	231	12.5	458	12.5

(注1)構成比は、各課程・各学年の不登校生徒数に占める割合

(注2)「その他」には、不登校生徒のうち前年度の状況が確認できなかった者を計上

(4-3)不登校生徒のうち中途退学・原級留置になった生徒数

区分	全日制		定時制		計	
	生徒数	(%)	生徒数	(%)	生徒数	(%)
不登校生徒数	2,003	-	1,673	-	3,676	-
うち中途退学に至った者	408	20.4	427	25.5	835	22.7
うち原級留置に至った者	123	6.1	184	11.0	307	8.4

(注) 印は各課程の不登校生徒数に占める中途退学者数及び原級留置者数の割合

(4-4)不登校になったきっかけと考えられる状況

区分	全日制		定時制		計		
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
学校に係る状況	615	30.7	338	20.2	953	25.9	
内訳	いじめ	6	0.3	1	0.1	7	0.2
	いじめを除く友人関係をめぐる問題	198	9.9	91	5.4	289	7.9
	教職員との関係をめぐる問題	5	0.2	8	0.5	13	0.4
	学業の不振	137	6.8	78	4.7	215	5.8
	進路にかかる不安	102	5.1	16	1.0	118	3.2
	クラブ活動、部活動等への不適應	34	1.7	2	0.1	36	1.0
	学校のきまり等をめぐる問題	20	1.0	31	1.9	51	1.4
	入学、転編入学、進級時の不適應	113	5.6	111	6.6	224	6.1
家庭に係る状況	327	16.3	196	11.7	523	14.2	
内訳	家庭の生活環境の急激な変化	95	4.7	71	4.2	166	4.5
	親子関係をめぐる問題	150	7.5	61	3.6	211	5.7
	家庭内の不和	82	4.1	64	3.8	146	4.0
本人に係る状況	1,652	82.5	1,509	90.2	3,161	86.0	
内訳	病気による欠席	110	5.5	45	2.7	155	4.2
	あそび・非行	203	10.1	364	21.8	567	15.4
	無気力	852	42.5	646	38.6	1,498	40.8
	不安など情緒的混乱	340	17.0	131	7.8	471	12.8
	意図的な拒否	70	3.5	144	8.6	214	5.8
	その他本人に関わる問題	77	3.8	179	10.7	256	7.0
その他	17	0.8	36	2.2	53	1.4	
不明	39	1.9	89	5.3	128	3.5	

不登校生徒数	(全日)	2,003	(定時)	1,673	(計)	3,676
--------	------	-------	------	-------	-----	-------

(注1)複数回答可(複数回答のため、人数の合計は不登校生徒数と合わない)

(注2)パーセンテージは、各区分における不登校生徒数に対する割合(複数回答のため、割合の合計は100%を超える)

(4-5)不登校生徒への指導結果状況

区分	(1)全日制				(2)定時制				計			
	人数(人)	割合(%)	うち、単位制		人数(人)	割合(%)	うち、単位制		人数(人)	割合(%)	うち、単位制	
			人数(人)	割合(%)			人数(人)	割合(%)			人数(人)	割合(%)
指導の結果登校する又はできるようになった生徒	343	17.1	121	18.1	224	13.4	164	13.9	567	15.4	285	15.4
指導中の生徒	1,660	82.9	547	81.9	1,449	86.6	1,020	86.1	3,109	84.6	1,567	84.6
うち継続した登校には至らないものの好ましい変化が見られるようになった生徒	537	26.8	202	30.2	409	24.4	324	27.4	946	25.7	526	28.4
計	2,003	100.0	668	100.0	1,673	100.0	1,184	100.0	3,676	100.0	1,852	100.0

(4 - 6) 4 - 5の「指導の結果登校する又はできるようになった生徒」に特に効果のあった学校の措置

(単位/校)

区分	(1)全日制		(2)定時制	
		うち、単位制		うち、単位制
不登校の問題について、研修会や事例研究会を通じて全教師の共通理解を図った。	13	3	1	1
全ての教師が当該生徒に触れ合いを多くするなどして学校全体で指導にあたった。	15	5	4	2
教育相談担当の教師が専門的に指導にあたった。	12	3	1	0
養護教諭が専門的に指導にあたった。	30	6	5	3
スクールカウンセラー、相談員等が専門的に相談にあたった。	33	7	4	2
友人関係を改善するための指導を行った。	19	8	2	1
教師との触れ合いを多くするなど、教師との関係を改善した。	17	7	8	5
授業方法の改善、個別の指導など授業がわかるようにする工夫を行った。	12	3	1	1
様々な活動の場面において本人が意欲をもって活動できる場を用意した。	12	3	3	1
保健室等特別の場所に登校させて指導にあたった。	20	2	2	2
登校を促すため、電話をかけたたり迎えに行くなどした。	38	9	9	6
家庭訪問を行い、学業や生活面での相談にのるなど様々な指導・援助を行った。	20	0	1	1
保護者の協力を求めて、家庭関係や家庭生活の改善を図った。	30	9	5	3
教育相談センター等の相談機関と連携して指導にあたった。	7	0	1	0
病院等の医療機関と連携して指導にあたった。	7	1	2	1
その他	2	1	2	1

(注)複数回答を可とする。

(4-7) 相談・指導等を受けた学校内外の機関等

区分	全日制				定時制				計								
	相談・指導等を受けた人数		指導要録上出席扱いした人数		相談・指導等を受けた人数		指導要録上出席扱いした人数		相談・指導等を受けた人数(A)		不登校児童・生徒数における(A)の割合(%)		指導要録上出席扱いした人数(B)		(B)/(A)(%)		
	うち 単位制	うち 単位制	うち 単位制	うち 単位制	うち 単位制	うち 単位制	うち 単位制	うち 単位制	うち 単位制	うち 単位制	うち 単位制	うち 単位制	うち 単位制	うち 単位制	うち 単位制		
学校外	(1) ~ の機関等で相談・指導等を受けた人数(実数)	271	65	1	0	69	55	0	0	340	120	9.25	6.48	1	0	0.29	0.00
	教育支援センター(適応指導教室)	18	2	0	0	4	3	0	0	22	5	0.60	0.27	0	0	0.00	0.00
	教育センター等教育委員会所管の機関(を除く)	29	4	1	0	4	2	0	0	33	6	0.90	0.32	1	0	3.03	0.00
	児童相談所、福祉事務所	21	4	0	0	19	16	0	0	40	20	1.09	1.08	0	0	0.00	0.00
	保健所、精神福祉保健センター	2	1	0	0	3	2	0	0	5	3	0.14	0.16	0	0	0.00	0.00
	病院、診療所	195	50	0	0	29	25	0	0	224	75	6.09	4.05	0	0	0.00	0.00
	民間団体、民間施設	15	4	0	0	12	9	0	0	27	13	0.73	0.70	0	0	0.00	0.00
	上記以外の機関等	9	1	0	0	12	9	0	0	21	10	0.57	0.54	0	0	0.00	0.00
	(2) ~ の機関等で相談・指導等を受けていない人数(実数)	1,523	533	-	-	1,377	990	-	-	2,900	1,523	78.89	82.24	-	-	-	-
(3) 不明(実数)	209	70	-	-	227	139	-	-	436	209	11.86	11.29	-	-	-	-	
(4) (1)~(3)の合計	2,003	668	-	-	1,673	1,184	-	-	3,676	1,852	100.00	100.00	-	-	-	-	
学校内	(5) . による相談・指導等を受けた人数(実数)	540	140	-	-	203	132	-	-	743	272	20.21	14.69	-	-	-	-
	養護教諭による専門的な指導を受けた人数	387	95	-	-	163	98	-	-	550	193	14.96	10.42	-	-	-	-
	スクールカウンセラー、相談員等による専門的な相談を受けた人数	320	75	-	-	67	48	-	-	387	123	10.53	6.64	-	-	-	-
	(6) . による相談・指導等を受けていない人数(実数)	1,463	528	-	-	1,470	1,052	-	-	2,933	1,580	79.79	85.31	-	-	-	-
	(7) (5)~(6)の合計	2,003	668	-	-	1,673	1,184	-	-	3,676	1,852	100.00	100.00	-	-	-	-
(8) 上記 ~ , , による相談・指導等を受けていない人数	1,230	450	-	-	1,330	921	-	-	2,560	1,371	69.64	74.03	-	-	-	-	

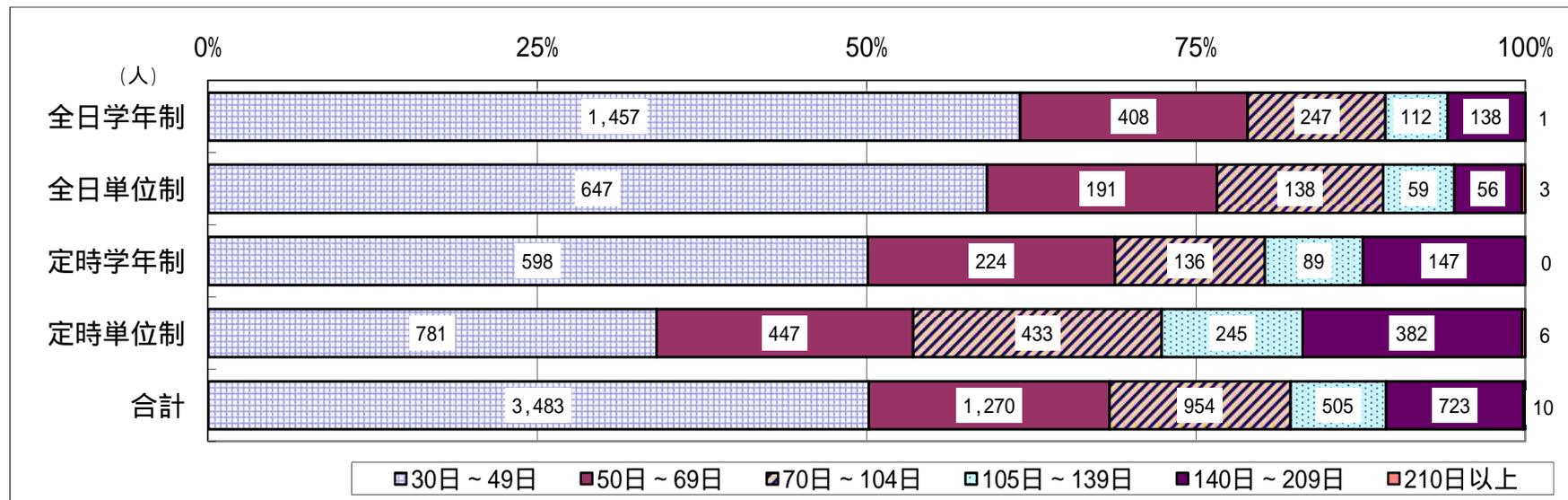
(注1) ~ 、 、 は複数回答可

(注2)(8)の人数および割合は、相談・指導を受けていない人数・割合

(4 - 8) 欠席日数別長期欠席生徒の状況

区分	長期欠席生徒数	欠席日数												
		30日～49日		50日～69日		70日～104日		105日～139日		140日～209日		210日以上		
		人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	
全 日 制	3,457	2,104	60.86	599	17.33	385	11.14	171	4.95	194	5.61	4	0.12	
1 年 生	629	327	51.99	112	17.81	97	15.42	38	6.04	54	8.59	1	0.16	
2 年 生	818	461	56.36	161	19.68	96	11.74	44	5.38	56	6.85	0	0.00	
3 年 生	916	669	73.03	135	14.74	54	5.90	30	3.28	28	3.06	0	0.00	
内 訳	単 位 制	1,094	647	59.14	191	17.46	138	12.61	59	5.39	56	5.12	3	0.27
定 時 制	3,488	1,379	39.54	671	19.24	569	16.31	334	9.58	529	15.17	6	0.17	
1 年 生	443	156	35.21	81	18.28	68	15.35	49	11.06	89	20.09	0	0.00	
2 年 生	272	148	54.41	54	19.85	27	9.93	19	6.99	24	8.82	0	0.00	
3 年 生	293	166	56.66	58	19.80	29	9.90	17	5.80	23	7.85	0	0.00	
4 年 生	186	128	68.82	31	16.67	12	6.45	4	2.15	11	5.91	0	0.00	
内 訳	単 位 制	2,294	781	34.05	447	19.49	433	18.88	245	10.68	382	16.65	6	0.26
計	6,945	3,483	50.15	1,270	18.29	954	13.74	505	7.27	723	10.41	10	0.14	
1 年 生	1,072	483	45.06	193	18.00	165	15.39	87	8.12	143	13.34	1	0.09	
2 年 生	1,090	609	55.87	215	19.72	123	11.28	63	5.78	80	7.34	0	0.00	
3 年 生	1,209	835	69.07	193	15.96	83	6.87	47	3.89	51	4.22	0	0.00	
4 年 生	186	128	68.82	31	16.67	12	6.45	4	2.15	11	5.91	0	0.00	
内 訳	単 位 制	3,388	1,428	42.15	638	18.83	571	16.85	304	8.97	438	12.93	9	0.27

(注)パーセンテージは、各区分における長期欠席生徒数に対する割合



5 中途退学者等の状況【公立高等学校】

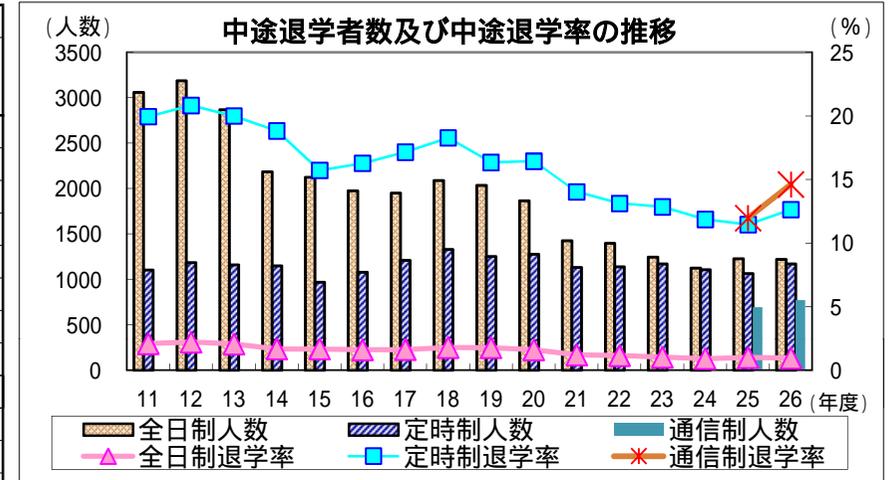
(5 - 1) 課程・学年別中途退学者数

区分	全日制					定時制						通信制		合計
	1年生	2年生	3年生	単位制	計	1年生	2年生	3年生	4年生	単位制	計	単位制	計	
中途退学者数	364	355	114	388	1,221	303	132	75	20	642	1,172	770	770	3,163

(参考)

中途退学者数及び中途退学率の推移

区分	全日制			定時制		
	人数	中途退学率	増減(p)	人数	中途退学率	増減(p)
平成11年度	3,061	2.09	0.18	1,104	19.95	0.63
平成12年度	3,188	2.21	0.12	1,187	20.83	0.88
平成13年度	2,871	2.07	0.14	1,162	20.00	0.83
平成14年度	2,185	1.67	0.40	1,150	18.83	1.17
平成15年度	2,125	1.67	0.00	971	15.72	3.11
平成16年度	1,976	1.60	0.07	1,078	16.28	0.56
平成17年度	1,952	1.62	0.02	1,209	17.16	0.88
平成18年度	2,089	1.79	0.17	1,331	18.28	1.12
平成19年度	2,036	1.77	0.02	1,255	16.34	1.94
平成20年度	1,865	1.61	0.16	1,279	16.44	0.10
平成21年度	1,426	1.21	0.40	1,134	14.03	2.41
平成22年度	1,398	1.16	0.05	1,139	13.12	0.91
平成23年度	1,247	1.03	0.13	1,169	12.85	0.27
平成24年度	1,125	0.91	0.12	1,109	11.86	0.99
平成25年度	1,230	0.99	0.08	1,067	11.46	0.40
平成26年度	1,221	0.95	0.04	1,172	12.63	1.17



通信制		
人数	中途退学率	増減(p)
692	11.96	-
770	14.61	2.65

(注1)中途退学率は、平成26年4月1日現在の在籍者数に占める中途退学者数の割合

(注2)平成25年度より、通信制についても数値を計上

(5 - 2)事由別中途退学者数

事由	全日制		定時制		通信制	
	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)
学業不振	108	8.8	22	1.9	182	23.6
学校生活・学業不適應	377	30.9	308	26.3	10	1.3
もともと高校生活に熱意がない	138	11.3	133	11.3	4	0.5
授業に興味がない	103	8.4	95	8.1	3	0.4
人間関係がうまく保てない	61	5.0	31	2.6	0	0.0
学校の雰囲気が合わない	36	2.9	21	1.8	2	0.3
その他	39	3.2	28	2.4	1	0.1
進路変更	475	38.9	437	37.3	82	10.6
別の高校への入学を希望	107	8.8	54	4.6	26	3.4
専修・各種学校への入学を希望	17	1.4	9	0.8	8	1.0
就職を希望	129	10.6	187	16.0	19	2.5
高卒程度認定試験を受験希望	99	8.1	19	1.6	18	2.3
その他	123	10.1	168	14.3	11	1.4
病気・けが・死亡	55	4.5	23	2.0	4	0.5
経済的理由	3	0.2	6	0.5	0	0.0
家庭の事情	57	4.7	97	8.3	5	0.6
問題行動等	17	1.4	19	1.6	2	0.3
その他の理由	129	10.6	260	22.2	485	63.0
定時制のみ						
仕事の多忙	-	-	189	16.1	6	0.8
勤務先の事情	-	-	2	0.2	0	0.0
その他	129	10.6	69	5.9	479	62.2
中途退学者数	1,221	100.0	1,172	100.0	770	100.0

(注1)中途退学者1人につき、主たる理由を一つ選択

(注2)構成比は、各事由における中途退学者数に対する割合

(注3)平成25年度より、通信制についても数値を計上

(5 - 3)経済的理由の具体的な状況

事由	全日制		定時制		通信制	
	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)
授業料減免を受けていた者	0	0.0	1	16.7	0	0.0
奨学金の貸与を受けていた者	1	33.3	0	0.0	0	0.0
授業料の滞納があった者	0	0.0	1	16.7	0	0.0
上記のいずれかにも該当しない者	2	66.7	4	66.7	0	0.0
経済的理由による中途退学者数	3	100.0	6	100.0	0	100.0

(注1) ~ については複数回答可

(注2)構成比は、経済的理由による退学者数に対する割合

(注3)平成25年度より、通信制についても数値を計上

(5 - 4) 課程・学科・学年別中途退学者数

区分	全日制						定時制		通信制		合計	
	普通科		専門学科		総合学科		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)						
1 年 生	253	0.81	111	2.38	-	-	303	23.71	-	-	667	1.79
2 年 生	265	0.89	90	1.99	-	-	132	13.47	-	-	487	1.38
3 年 生	95	0.34	19	0.44	-	-	75	7.34	-	-	189	0.57
4 年 生	-	-	-	-	-	-	20	2.88	-	-	20	2.88
単 位 制	148	1.28	27	0.69	213	2.16	642	12.11	770	14.61	1,800	5.01
合 計	761	0.76	247	1.42	213	2.16	1,172	12.63	770	14.61	3,163	2.22

(注)割合は、平成26年4月1日現在の在籍生徒数(課程・学年等別)に占める中途退学者の割合

(5 - 5) 課程・学科・学年別懲戒による退学者数

区分	全日制						定時制		通信制		合計	
	普通科		専門学科		総合学科		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)						
1 年 生	0	0.00	0	0.00	-	-	0	0.00	-	-	0	0.00
2 年 生	0	0.00	0	0.00	-	-	0	0.00	-	-	0	0.00
3 年 生	0	0.00	0	0.00	-	-	0	0.00	-	-	0	0.00
4 年 生	-	-	-	-	-	-	0	0.00	-	-	0	0.00
単 位 制	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
合 計	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00

(5 - 6) 課程・学科・学年別原級留置者数

区分	全日制						定時制		通信制		合計	
	普通科		専門学科		総合学科		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)						
1 年 生	69	0.22	27	0.58	-	-	104	8.14	-	-	200	0.54
2 年 生	56	0.19	13	0.29	-	-	32	3.27	-	-	101	0.29
3 年 生	15	0.05	4	0.09	-	-	27	2.64	-	-	46	0.14
4 年 生	-	-	-	-	-	-	13	1.87	-	-	13	1.87
単 位 制	3	0.03	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	3	0.01
合 計	143	0.14	44	0.25	0	0.00	176	1.90	0	0.00	363	0.25

(注1)原級留置者とは、平成27年3月末現在で進級又は卒業が認められなかった者をいう

(注2)割合は、平成26年4月1日現在の在籍生徒数(課程・学年等別(単位制を除く))に占める原級留置者の割合

(5 - 7) 課程・学科・学年別再入学者数

区分	全日制			定時制	通信制	合計
	普通科	専門学科	総合学科			
1 年 生	0	0	-	0	-	0
2 年 生	0	0	-	1	-	1
3 年 生	0	0	-	3	-	3
4 年 生	-	-	-	2	-	2
単 位 制	7	0	0	4	5	16
合計	7	0	0	10	5	22

(注)再入学者とは、平成26年度以前に高等学校を退学した者で、退学したとき同一の学校の同一課程・学科に平成26年度中に入学した者をいう。

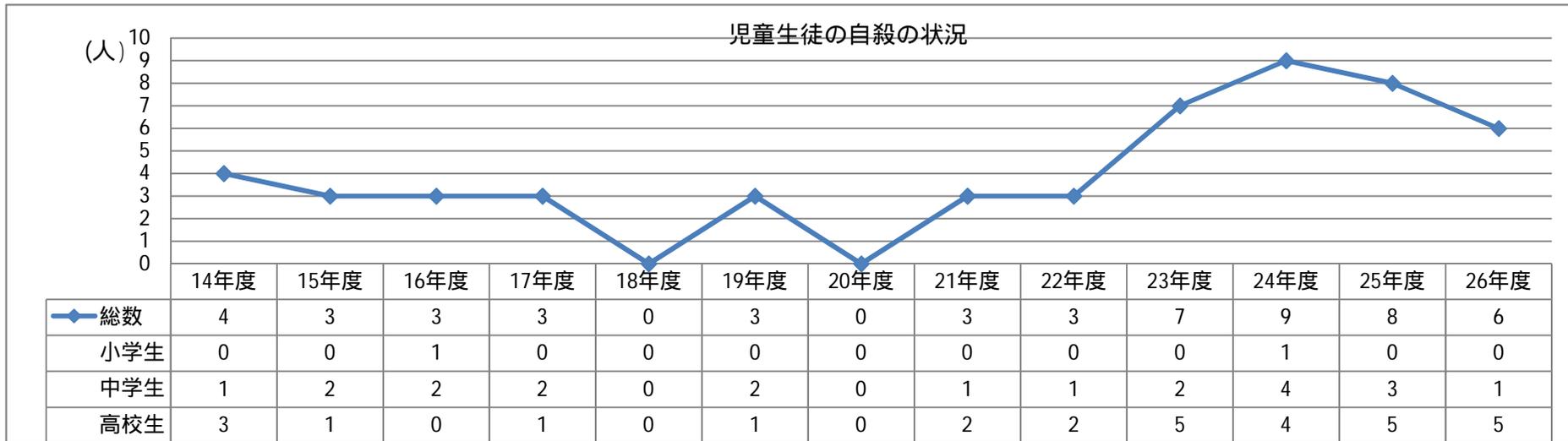
(5 - 8) 編入学者数

区分	全日制			定時制	通信制	合計
	普通科	専門学科	総合学科			
1 年 生	0	0	-	0	-	0
2 年 生	1	1	-	3	-	5
3 年 生	0	0	-	3	-	3
4 年 生	-	-	-	2	-	2
単 位 制	35	0	0	6	164	205
合計	36	1	0	14	164	215

(注)編入学者とは、平成26年度以前に高等学校を退学した者で、いずれかの高等学校に平成26年度中に入学した者の中から、「(5 - 7) 課程・学科・学年別再入学者数」を除いた者をいう。

6 自殺の状況【公立小・中・高等学校】

(6-1) 児童・生徒の自殺の状況



(6-2) 自殺した児童・生徒の学年別、男女別内訳

区分	小学校							中学生				高校生				合計	
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生	計	1年生	2年生	3年生	4年生		計
男子	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	3	1	0	0	4	5
女子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
計	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	3	1	0	1	5	6

(6-3) 自殺した児童・生徒が置かれていた状況

区分	小学校		中学校		高等学校		計	
	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)
家庭不和	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
父母等のしっ責	0	0.0	0	0.0	1	20.0	1	16.7
学業不振	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
進路問題	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
教職員との関係での悩み	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
友人関係での悩み(いじめを除く)	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
いじめの問題	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
病弱等による悲観	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
厭世	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
異性問題	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
精神障害	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明	0	0.0	1	100.0	4	80.0	5	83.3
その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

(注1)複数回答を可とする。(注2)構成比は、各区分における自殺した児童・生徒数に対する割合。

7 出席停止の状況【公立小・中学校】

(7-1)出席停止の措置がとられた小・中学校数及び市町村教育委員会数

区分	小学校	中学校	教育委員会数
平成26年度	0	0	0

(7-2)出席停止の学年別・男女別件数

区分	学年別件数											合計	
	小学校							中学校					
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生	計		
平成26年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

区分	男女別件数		
	小学校	中学校	計
男子	0	0	0
女子	0	0	0

(7-3)出席停止の期間別件数

区分	1~3日	4~6日	7~13日	14~20日	21日以上	計
小学校	0	0	0	0	0	0
中学校	0	0	0	0	0	0

(7-4)出席停止の理由別件数

区分	対教師暴力	生徒間暴力	対人暴力	器物損壊	授業妨害	いじめ	その他	計
小学校	0	0	0	0	0	0	0	0
中学校	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0

(注)複数回答可

8 教育相談の状況（県・市町村教育委員会）

（8 - 1）県・政令指定都市における教育相談機関及び教育相談員数

区分	機関 (カ所)	教育相談員		
		常勤(人)	非常勤(人)	計
教育センター・教育研究所	2	60 (30.0)	27 (13.5)	87 (43.5)
教育相談所・相談室	6	14 (2.3)	121 (20.2)	135 (22.5)

(注1)()内は、1機関当たりの平均教育相談員数。

(注2)「教育センター・教育研究所」とは、教員研修、専門的研究、教育相談等の活動を行う総合的機関。

(注3)「教育相談所・相談室」とは、主として教育相談を行う機関のことであり、教育委員会や地方教育事務所の建物の中に設置されている相談室や相談コーナーを含む。

（8 - 2）県・政令指定都市における相談形態別教育相談件数

区分	来所相談	電話相談	訪問相談	巡回相談	計
教育センター・教育研究所	1,607	2,401	8	0	4,016
教育相談所・相談室	1,745	2,147	83	11,247	15,222
計	3,352	4,548	91	11,247	19,238

(注1)訪問相談とは、依頼に応じて訪問して行う教育相談をいい、巡回教育相談とは、教育相談機関が相談者の便を図り、計画的に公民館等に出向いて相談を受けるものをいう。

(注2)同じ者に継続して行った教育相談は、1件として計上。ただし、途中から相談方法を変えるなど複数の方法で相談を行った場合には、それぞれの相談方法ごとに1件と数える。

(注3)各件数には、小・中・高・特別支援学校に通う児童・生徒とその家族による相談のほか、学校に通っていない青少年や教職員などによる相談も含まれる。

（8 - 3）県・政令指定都市における来所相談におけるいじめ及び不登校についての教育相談件数

区分	小学生	中学生	高校生	その他	計
教育センター・教育研究所での来所教育相談件数(A)	356	371	83	797	1,607
教育相談所・相談室での来所教育相談件数(B)	776	675	217	77	1,745
来所教育相談総件数(AとBの合計)	1,132	1,046	300	874	3,352
うち、いじめに関する教育相談件数	17	16	5	9	47
うち、不登校に関する教育相談件数	577	783	197	822	2,379

(注1)同じ者に継続して行った教育相談は、1件として計上。ただし、途中から相談方法を変えるなど複数の方法で相談を行った場合には、それぞれの相談方法ごとに1件と数える。

(注2)各件数には、小・中・高・特別支援学校に通う児童・生徒とその家族による相談のほか、学校に通っていない青少年や教職員などによる相談も含まれる。

(8 - 4) 県・政令指定都市における電話相談・訪問相談・巡回相談におけるいじめ及び不登校についての教育相談件数

区分		小学生	中学生	高校生	その他	計	
教育相談件数	電話相談	1,156	1,140	945	1,307	4,548	
	訪問相談	39	38	4	10	91	
	巡回相談	5,733	4,790	464	260	11,247	
内数	いじめに関する相談	電話相談	387	325	153	374	1,239
		訪問相談	0	0	0	0	0
		巡回相談	62	22	0	0	84
	不登校に関する相談	電話相談	241	468	574	65	1,348
		訪問相談	34	29	3	6	72
		巡回相談	1,193	2,564	19	0	3,776

(注1)同じ者に継続して行った教育相談は、1件として計上。ただし、途中から相談方法を変えるなど複数の方法で相談を行った場合には、それぞれの相談方法ごとに1件と数える。

(注2)各件数には、小・中・高等学校に通う児童・生徒とその家族による相談のほか、学校に通っていない青少年や教職員などによる相談も含まれる。

(8 - 5) 市町村(政令指定都市を除く)の教育委員会が所管する教育相談を行っている機関の状況

ア 教育相談機関数

機関数(カ所)	49
---------	----

イ 教育相談員数

区分	常勤	非常勤	計
人数(人)	14	143	157
構成比(%)	8.9	91.1	100.0
1機関あたりの平均教育相談員数(人)	0.3	2.9	3.2

ウ 相談形態別教育相談件数

区分	来所相談	電話相談	訪問相談	巡回相談	計
件数(件)	19,365	9,001	3,049	3,148	34,563

(注1)訪問相談とは、依頼に応じて訪問して行う教育相談をいい、巡回教育相談とは、教育相談機関が相談者の便を図り、計画的に公民館等に出向いて相談を受けるものをいう。

(注2)同じ者に継続して行った教育相談は、1件として計上。ただし、途中から相談方法を変えるなど複数の方法で相談を行った場合には、それぞれの相談方法ごとに1件と数える。

(注3)各件数には、小・中・高等学校に通う児童・生徒とその家族による相談のほか、学校に通っていない青少年や教職員などによる相談も含まれる。